

障がい児福祉に関するアンケート
結果報告書

令和5年3月

草加市

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果概要	9
	(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査.....	11
	① 保護者アンケート.....	11
	② 障害児通所支援事業所アンケート.....	12
III	調査結果	15
	(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査.....	17
	① 保護者アンケート.....	17
	② 障害児通所支援事業所アンケート.....	62
IV	資料編（各種調査票）	75
	(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査.....	77
	① 保護者アンケート.....	77
	② 障害児通所支援事業所アンケート.....	86

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、障がい児(者)の実情やニーズを把握するとともに、市民及び事業所から障がい児(者)施策へのご意見やご要望をうかがい、「第四次草加市障がい者計画」、「第7期草加市障がい福祉計画」、「第3期草加市障がい児福祉計画」策定のための基礎調査とするため、現行計画の進捗状況を踏まえたニーズ調査を実施することを目的としました。

2 調査対象者

(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査

①保護者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害児通所受給者証を持つ子どもの保護者	1,071人
②事業所	市内の障害児通所支援事業所、市内の相談支援事業所	77所

3 調査方法・調査期間

(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査

【①保護者・②事業所対象調査】

- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査実施期間：令和4年12月5日～12月31日まで

4 回収結果

(1) 障がい児福祉に関するアンケート調査

調査区分	配布数	回収数	回収率
①保護者	1,071件	666件	62.2%
②事業所	77件	60件	77.9%

5 報告書の見方について

(1) 集計結果の表記方法

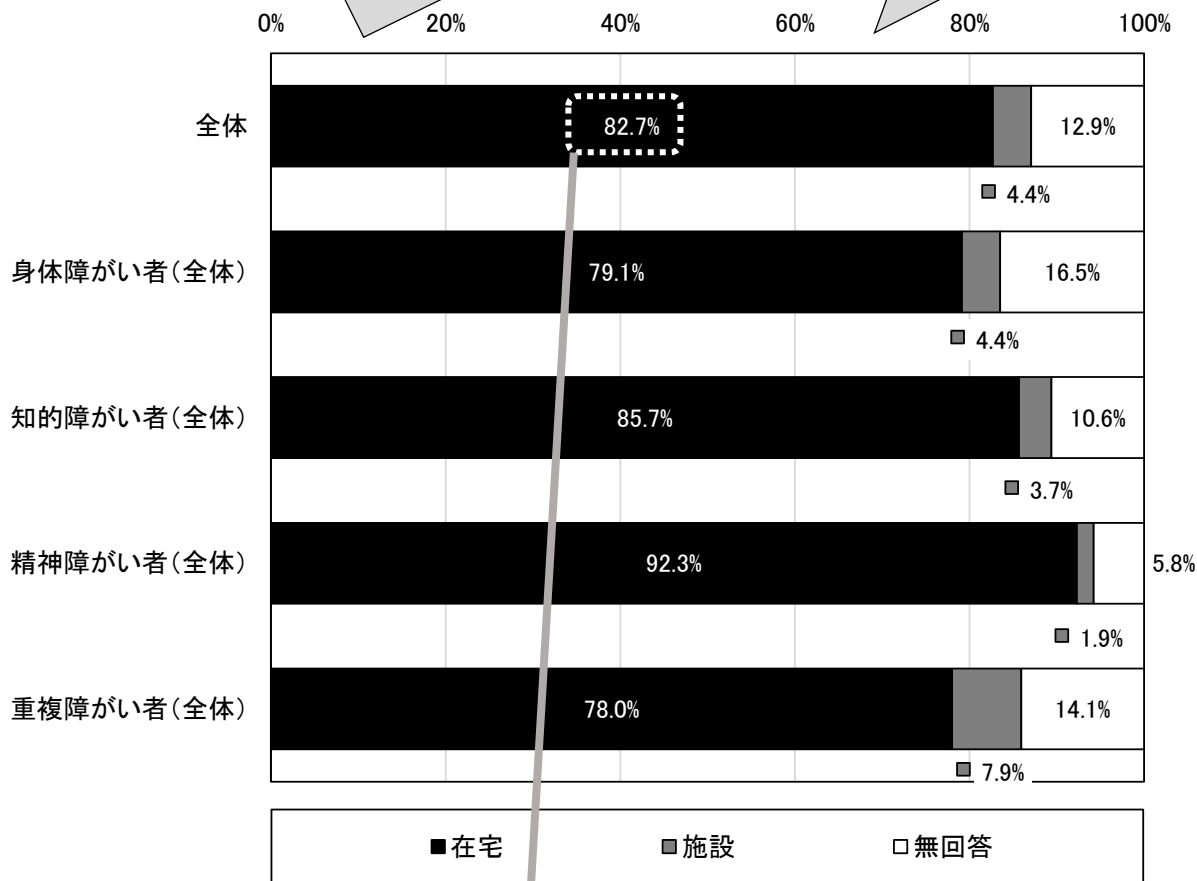
- 本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- 各表中にある「度数」は回答した人の数を表しています。
- 各設問の合計・回答者数は、集計対象者総数、集計総回答数または特定の方への設問に対する限定回答者数を表しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答については、回答者数を基数として百分率(%)で示しています。したがって、合計値は100.0%にならない場合もあります。
- 設問の選択肢は、表記を省略している場合があります。

(2) グラフ・集計表の見方

① 単一回答

単一回答（1つのみ）形式の設問は、帯グラフで表示
但し、選択肢が多い場合などは、見やすさを考慮して、棒グラフで表示

小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が99.9%や100.1%など、100.0%とならない場合がある



障害の種別などの属性を掲載している図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しません

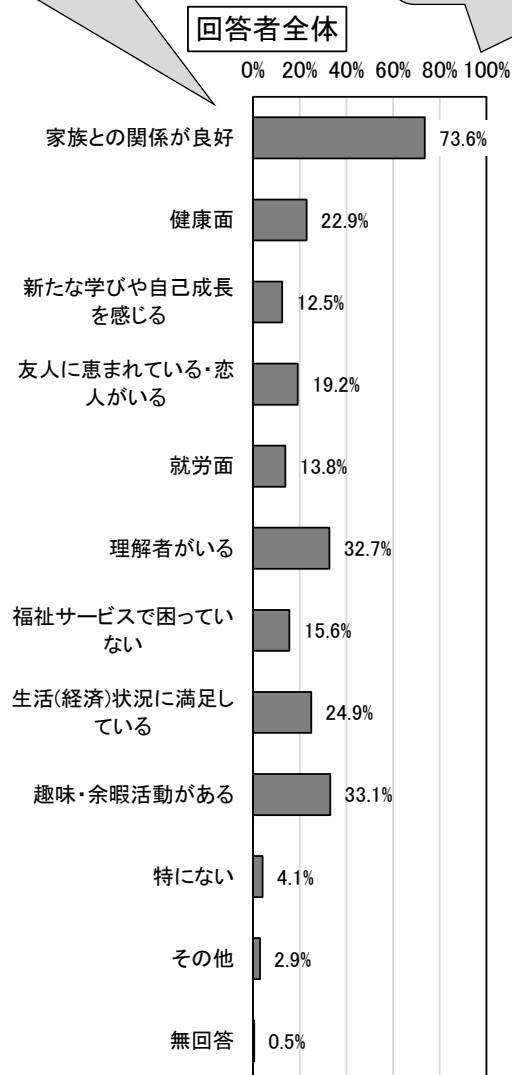
「合計」・「回答者数」（集計の母数）
単一回答の場合、「合計」

	在宅	施設	無回答	合計
回答者全体	2,000	106	313	2,419
身体障がい者(全体)	903	50	188	1,141
知的障がい者(全体)	299	13	37	349
精神障がい者(全体)	479	10	30	519
重複障がい者(全体)	270	27	37	334
手帳種別不明	49	6	21	76

②複数回答

複数回答（いくつでも）形式の設問は、棒グラフで表示

1人の回答者が複数回答できるため、割合の合計値が100.0%を超える場合がある



「合計」・「回答者数」(集計の母数)

複数回答の場合は、「回答者数」の記載

複数回答の場合、構成比の合計値部分は斜線にて記載

	家族との関係が良好	健康面	新たな学びや自己成長を感じる	友人に恵まれている・恋人がいる	就業状況	生活(経済)状況に満足している	福祉サービスで困っていない
回答者全体	1,025 73.6%	319 22.9%	174 12.5%	267 19.2%	13 0.9%	456 32.7%	217 15.6%
身体障がい者(全体)	540 75.2%	145 20.2%	53 7.4%	150 20.9%	7 0.9%	211 29.4%	123 17.1%
知的障がい者(全体)	187 77.9%	80 33.3%	40 16.7%	26 10.8%	70 29.2%	84 35.0%	33 13.8%
精神障がい者(全体)	149 66.8%	48 21.5%	55 24.7%	61 27.4%	48 21.5%	98 43.9%	36 16.1%
重複障がい者(全体)	126 73.3%	35 20.3%	17 9.9%	24 14.0%	16 9.3%	53 30.8%	24 14.0%
手帳種別不明	23 57.5%	11 27.5%	9 22.5%	6 15.0%	7 17.5%	10 25.0%	1 2.5%
	生活(経済)状況に満足している	趣味・余暇活動がある	特にない	その他	無回答	回答者数	
回答者全体	347 24.9%	461 33.1%	57 4.1%	41 2.9%	7 0.5%	1,393	
身体障がい者(全体)	169 23.5%	195 27.2%	28 3.9%	22 3.1%	3 0.4%	718	
知的障がい者(全体)	62 25.8%	101 42.1%	7 2.9%	6 2.5%	4 1.7%	240	
精神障がい者(全体)	60 26.9%	108 48.4%	10 4.5%	11 4.9%	0 0.0%	223	
重複障がい者(全体)	49 28.5%	45 26.2%	10 5.8%	2 1.2%	0 0.0%	172	
手帳種別不明	7 17.5%	12 30.0%	2 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	40	

II 調查結果概要

(1)障がい児福祉に関するアンケート調査

① 保護者アンケート

1 お子さんのことについて

お子さんのことについてみると、身体障害者手帳所持者は「6～8歳（小学校低学年）」、療育手帳所持者は「12～14歳（中学生）」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「12～14歳（中学生）」「15～17歳（高校生）」の人数が最も多くなっています。

医療的ケアを必要としている子どもについては、年齢別でみると「3～5歳（未就学）」及び「6～8歳（小学校低学年）」が7件と最も多くなっています。

2 ご家族の状況について

保護者の就労状況について、就労していない割合は、「父」が1.2%、「母」が38.9%となっています。また、就労していない方で就労を希望している方は、「父」が50.0%、「母」が37.8%となっています。

お子さんの介助や支援を行っている割合は、「親・祖父母」が90.8%、「施設の職員・世話人」が15.8%、「兄弟姉妹」が13.5%となっています。「兄弟姉妹」の内、18歳未満の方が58.9%、18歳以上の方は38.9%となっています。

3 障害児通所支援事業について

障害児通所支援事業所を利用している割合は、80.2%となっており、「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」それぞれの利用者の満足度については、『満足している』（とても満足している+満足している+やや満足している）が全ての事業所で8割を超えています。

障害児通所支援事業所を利用している方の事業所の所在地については、「草加市内」が454件と最も多く、次いで「埼玉県内」が110件、「東京都内」が7件、「千葉県内」が1件となっています。

また、事業所のサービスを利用するにあたり重要視しているところは、「支援の内容が子どもに合っている」が89.7%と最も多く、次いで「専門の職員がいる」が56.0%、「送迎のサービスがある」が54.3%と続いています。

障害児相談支援の利用について、「利用している」は今回調査で58.7%、前回調査では50.1%と8.6ポイント増加しています。また、障害児相談支援にて作成した支援利用計画書の満足度については、『満足している』（とても満足している+満足している+やや満足している）が今回調査で91.8%、前回調査では90.4%と満足度についても1.4ポイント増加している結果となりました。

4 差別について

平成 28 年に施行された「障害者差別解消法」の認知度については、「内容まで知っている」が 8.0% 「名前だけ聞いたことがある」が 27.8% 「知らない」が 62.6% となっています。

また、障害があることによる差別については、『差別を感じる』（よくある+たまにある）が、全体で 44.6% と約 4 割の方が差別を感じている状況となっています。

5 市民の理解について

地域の方の障がい児に対する理解が深まっているかについては、『（理解が深まっていると）感じる』（とても感じる+多少は感じる）が 35.2%、『（理解が深まっていると）感じない』（あまり感じない+まったく感じない）が 62.3% となっており、約 6 割の方が理解されてないと感じている結果となりました。

6 災害時について

障がい種別でみると『（避難生活が）できる』（できる+多少ならできる）方は身体障害者手帳所持者が 57.9%、療育手帳所持者が 49.4%、精神障害者保健福祉手帳所持者が 48.0% となっています。

一方、「（避難生活が）できない」方は身体障害者手帳所持者が 23.4%、療育手帳所持者が 30.4%、精神障害者保健福祉手帳所持者が 28.0% となっています。

避難生活でお子さんについて不安に思う事は、「コミュニケーション」が 56.8% と最も多く、次いで「トイレ」が 34.4%、「プライバシーの保護」が 31.1% と続いています。

また、障害者手帳別でみると、身体障害者手帳所持者では「薬や医療」、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「コミュニケーション」が、最も多くなっています。

② 障害児通所支援事業所アンケート

1 事業所の運営主体について

事業所の運営主体は、「株式会社、有限会社、合同会社」が 60 件中 30 件、所在地は、「原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原」が 9 件と最も多くなっています。

事業所の定員について、常勤職員人数は「4 人～6 人」が 60 件中 29 件、非常勤・その他人数は「1 人～3 人」が 14 件、合計人数は「10 人以上」が 20 件と最も多くなっています。

専門職員数は、「児童指導員」が 190 名と最も多くなっています。

利用対象種別は、「知的障がい」が 60 件中 57 件と最も多く、次いで「発達の遅れ」が 54 件、「精神障がい」が 23 件と続いています。

開設日は、『月曜日～金曜日』の平日については、9 割を超えています。

2 サービス状況について

提供しているサービスは、「放課後等デイサービス」が 60 件中 31 件と最も多くなっており、「放課後等デイサービス」の定員数の平均は 9.8 人、利用者数の平均は 21.7 人、草加市内での内訳平均は、16.9 人となっています。

サービス上の課題としては、「人材の確保・育成」が 60 件中 46 件と最も多く、次いで「有資格者の確保」が 35 件、「サービスに見合う収益の確保」が 20 件となっています。

今後の展望として、拡大や新規参入を考えているサービスは、「障害児相談支援」が60件中8件と最も多く、次いで「児童発達支援」が7件、「保育所等訪問支援」が6件となっています。一方、縮小や撤退を考えているサービスは、「児童発達支援（医療的ケア児）」及び「放課後等デイサービス（医療的ケア児）」が、それぞれ1件の回答となっています。

3 重症心身障害児について

重症心身障害児が利用できる体制となっているかについては、「利用できる」が60件中20件、「利用できない」が40件となっています。

また、利用できる体制となっている事業所の重症心身障害児の利用状況は、「現在、利用がある」が20件中12件、「現在、利用はない」が3件となっています。現在利用がある人数の内訳として、「1人～3人」が10件、「4人～6人」及び「7人～9人」がそれぞれ1件となっています。

そして、「利用できない」と回答した事業所の今後の利用開始については、「予定がある」が40件中1件、「予定はない」が34件となっています。

4 医療的ケアが必要な子どもについて

医療的ケアが必要な子どもが利用できる体制となっているかについては、「利用できる」が60件中15件、「利用できない」が45件となっています。

また、利用できる体制となっている事業所の医療的ケア児の利用状況は、「現在、利用がある」が15件中11件、「現在、利用がない」が4件となっています。現在利用がある人数の内訳として、「1人～3人」が8件、「4人～6人」が2件、「7人～9人」が1件となっています。

そして、「利用できない」と回答した事業所の今後の利用開始について、「予定がある」が45件中0件、「予定はない」が40件となっています。

III 調查結果

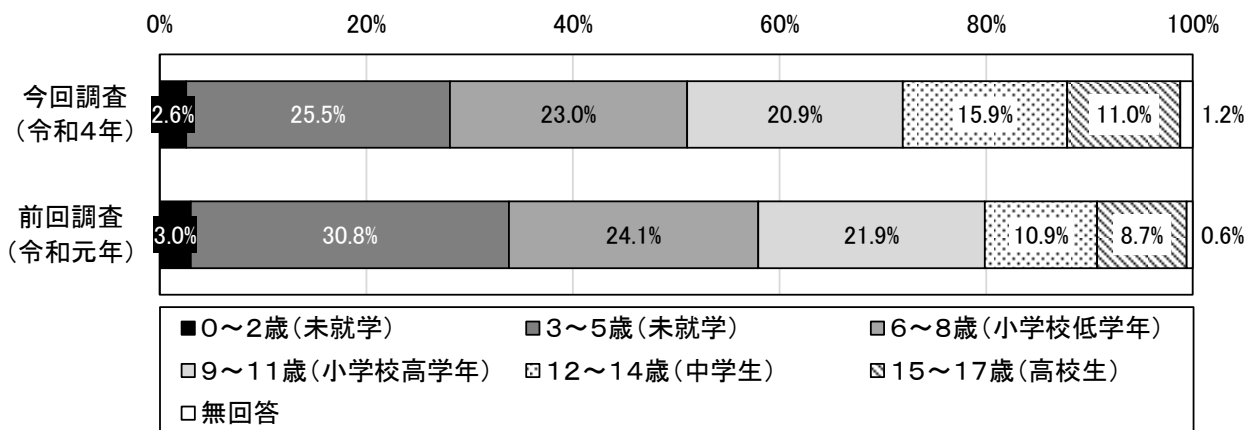
(1)障がい児福祉に関するアンケート調査

① 保護者アンケート

1 お子さんのことについて

問1 お子さんの年齢を教えてください。(1つのみ)

「3～5歳(未就学)」が25.5%と最も多く、次いで「6～8歳(小学校低学年)」が23.0%、「9～11歳(小学校高学年)」が20.9%となっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、大きな差はありませんでした。

	0～2歳(未就学)	3～5歳(未就学)	6～8歳(小学校低学年)	9～11歳(小学校高学年)	12～14歳(中学生)	15～17歳(高校生)	無回答	合計
今回調査(令和4年)	17 2.6%	170 25.5%	153 23.0%	139 20.9%	106 15.9%	73 11.0%	8 1.2%	666 100.0%
前回調査(令和元年)	15 3.0%	153 30.8%	120 24.1%	109 21.9%	54 10.9%	43 8.7%	3 0.6%	497 100.0%

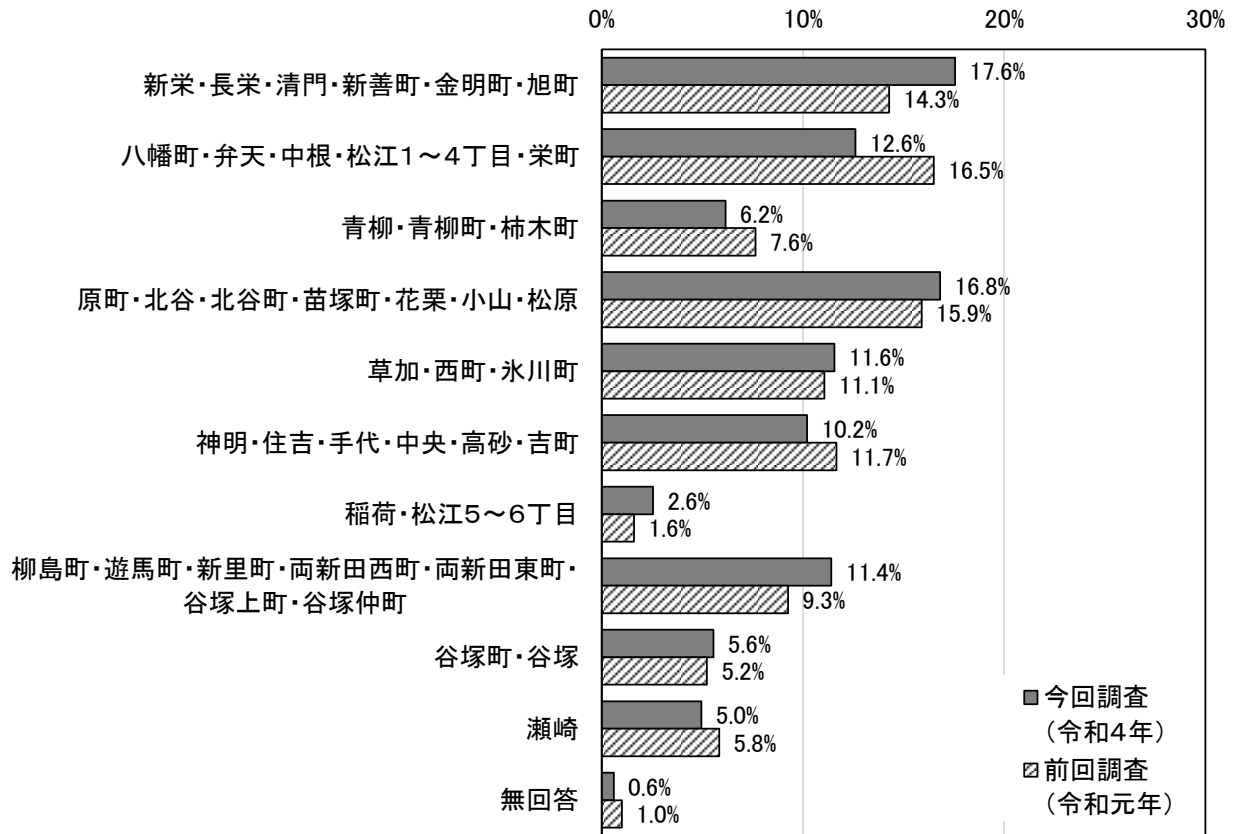
【障害者手帳の有無別クロス】

障害者手帳の有無別でクロスすると、「持っている」という回答では、「12～14歳(中学生)」が25.1%と最も多く、次いで「6～8歳(小学校低学年)」が20.4%となっています。

	0～2歳(未就学)	3～5歳(未就学)	6～8歳(小学校低学年)	9～11歳(小学校高学年)	12～14歳(中学生)	15～17歳(高校生)	無回答	合計
持っている	5 1.6%	39 12.2%	65 20.4%	63 19.7%	80 25.1%	66 20.7%	1 0.3%	319 100.0%
持っていない	12 3.7%	128 39.5%	83 25.6%	72 22.2%	20 6.2%	5 1.5%	4 1.2%	324 100.0%
無回答	0 0.0%	3 13.0%	5 21.7%	4 17.4%	6 26.1%	2 8.7%	3 13.0%	23 100.0%

問2 住んでいる地域を教えてください。(1つのみ)

「新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町」が17.6%と最も多く、次いで「原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原」が16.8%、「八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町」が12.6%となっています。



【前回比較】

前回調査と比較すると、「新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町」が3.3ポイント多くなっており、「八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町」が3.9ポイント少なくなっています。

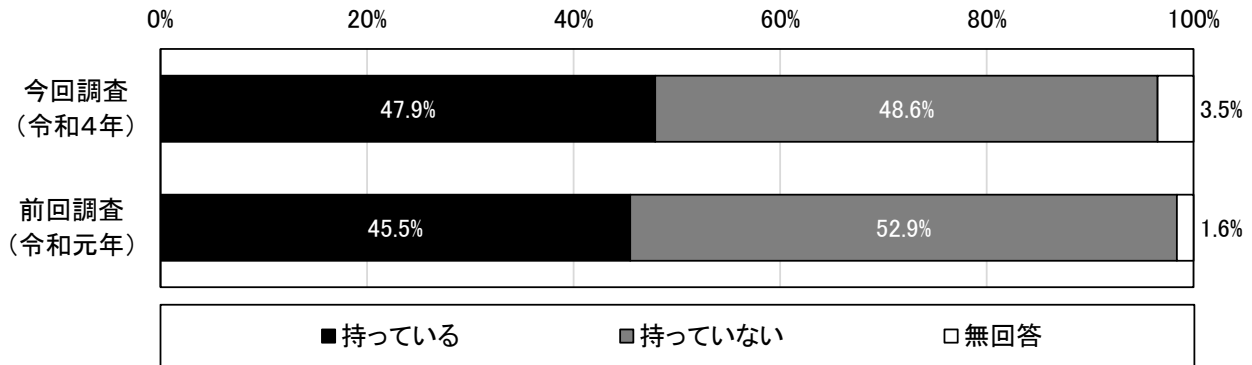
	今回調査		前回調査	
	度数	構成比	度数	構成比
新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町	117	17.6%	71	14.3%
八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町	84	12.6%	82	16.5%
青柳・青柳町・柿木町	41	6.2%	38	7.6%
原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原	112	16.8%	79	15.9%
草加・西町・氷川町	77	11.6%	55	11.1%
神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町	68	10.2%	58	11.7%
稲荷・松江5～6丁目	17	2.6%	8	1.6%
柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町	76	11.4%	46	9.3%
谷塚町・谷塚	37	5.6%	26	5.2%
瀬崎	33	5.0%	29	5.8%
無回答	4	0.6%	5	1.0%
合計	666	100.0%	497	100.0%

問3 お子さんは障害者手帳を持っていますか。(1つのみ)

「持っている」が47.9%、「持っていない」が48.6%となっています。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「持っている」が2.4ポイント多くなっています。



【年齢別クロス】

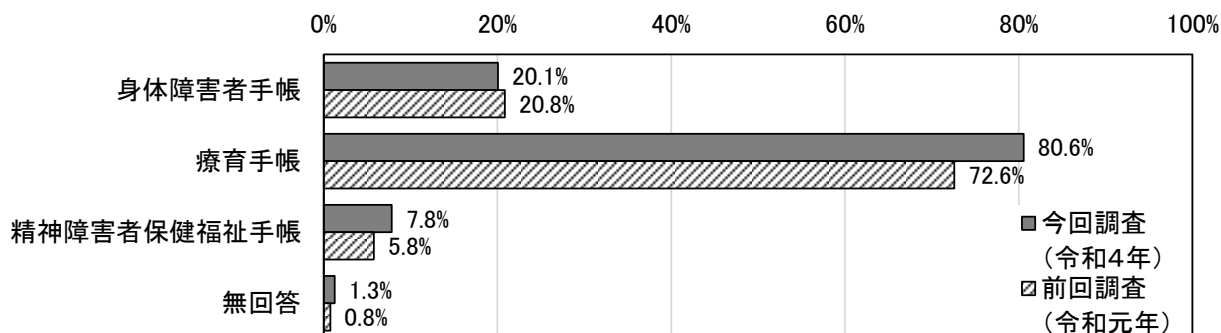
年齢別でクロスすると、「持っている」は、「15～17歳（高校生）」で9割を超えています。

	持っている	持っていない	無回答	合計
全体	319 47.9%	324 48.6%	23 3.5%	666 100.0%
0～2歳 (未就学)	5 29.4%	12 70.6%	0 0.0%	17 100.0%
3～5歳 (未就学)	39 22.9%	128 75.3%	3 1.8%	170 100.0%
6～8歳 (小学校低学年)	65 42.5%	83 54.2%	5 3.3%	153 100.0%
9～11歳 (小学校高学年)	63 45.3%	72 51.8%	4 2.9%	139 100.0%
12～14歳 (中学生)	80 75.5%	20 18.9%	6 5.7%	106 100.0%
15～17歳 (高校生)	66 90.4%	5 6.8%	2 2.7%	73 100.0%
無回答	1 12.5%	4 50.0%	3 37.5%	8 100.0%

【問3で「持っている」と回答した方におたずねします。】

問3-1 お子さんがお持ちの障害者手帳の種類と等級は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「療育手帳」が80.6%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が20.1%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.8%となっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
身体障害者手帳	64	20.1%	54	20.8%
療育手帳	257	80.6%	188	72.6%
精神障害者保健福祉手帳	25	7.8%	15	5.8%
無回答	4	1.3%	2	0.8%
回答者数	319		259	

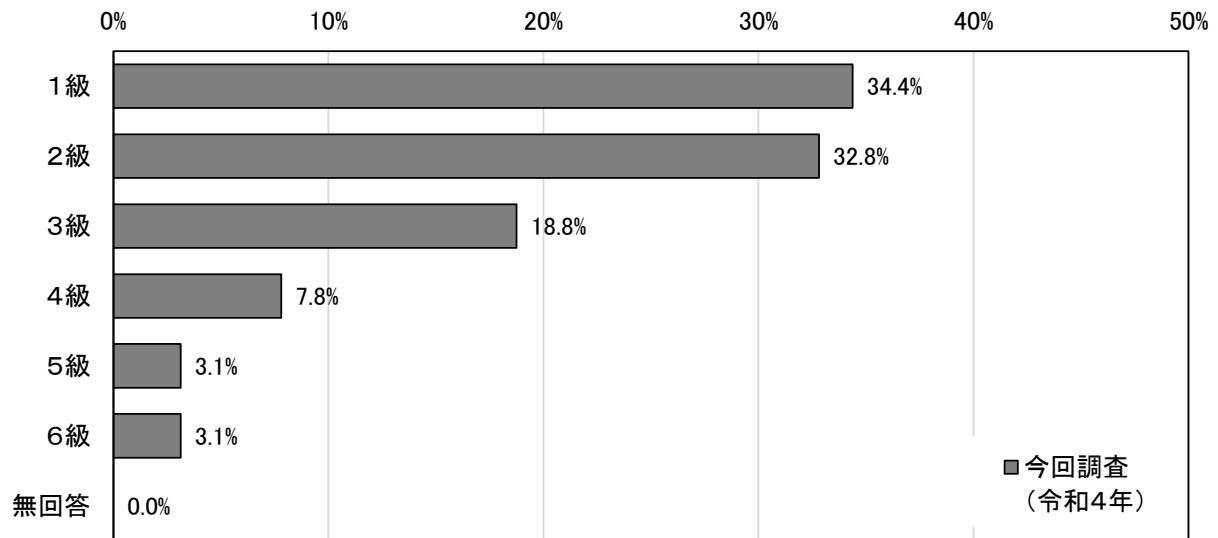
【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「療育手帳」では、『3歳～14歳』で8割を超えています。

	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答	回答者数
全体	64 20.1%	257 80.6%	25 7.8%	4 1.3%	319
0～2歳 (未就学)	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5
3～5歳 (未就学)	7 17.9%	32 82.1%	2 5.1%	3 7.7%	39
6～8歳 (小学校低学年)	18 27.7%	53 81.5%	1 1.5%	0 0.0%	65
9～11歳 (小学校高学年)	8 12.7%	55 87.3%	5 7.9%	0 0.0%	63
12～14歳 (中学生)	15 18.8%	65 81.3%	8 10.0%	1 1.3%	80
15～17歳 (高校生)	13 19.7%	50 75.8%	8 12.1%	0 0.0%	66
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1

● 【身体障害者手帳】

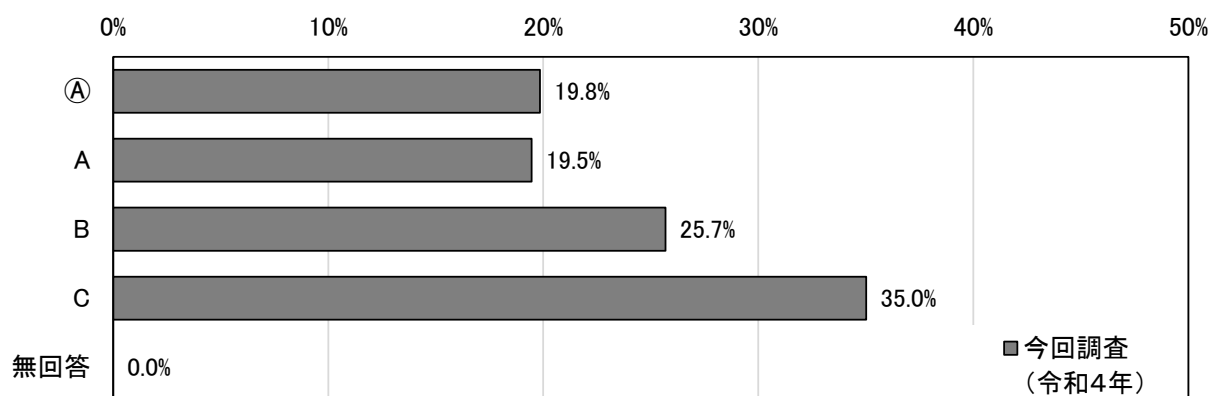
「1級」が34.4%と最も多く、次いで「2級」が32.8%、「3級」が18.8%となっています。



	度数	構成比
1級	22	34.4%
2級	21	32.8%
3級	12	18.8%
4級	5	7.8%
5級	2	3.1%
6級	2	3.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	64	

● 【療育手帳】

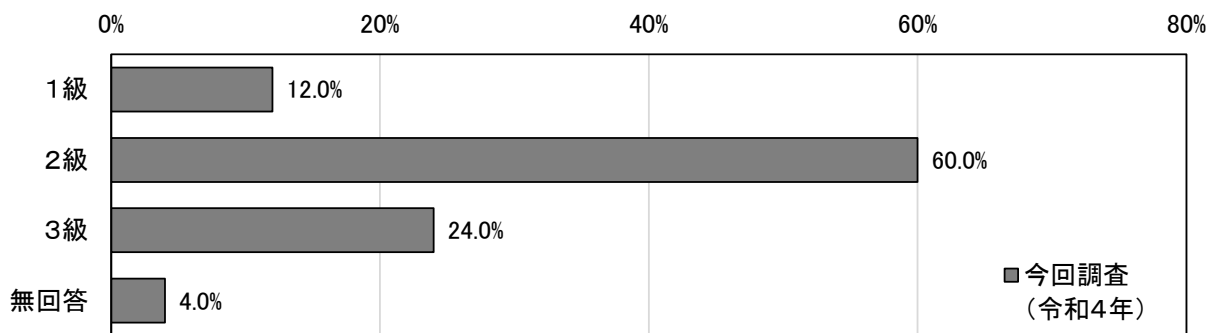
「C」が35.0%と最も多く、次いで「B」が25.7%、「A」が19.8%となっています。



	度数	構成比
㊤	51	19.8%
A	50	19.5%
B	66	25.7%
C	90	35.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	257	

● 【精神障害者保健福祉手帳】

「2級」が60.0%と最も多く、次いで「3級」が24.0%、「1級」が12.0%となっています。

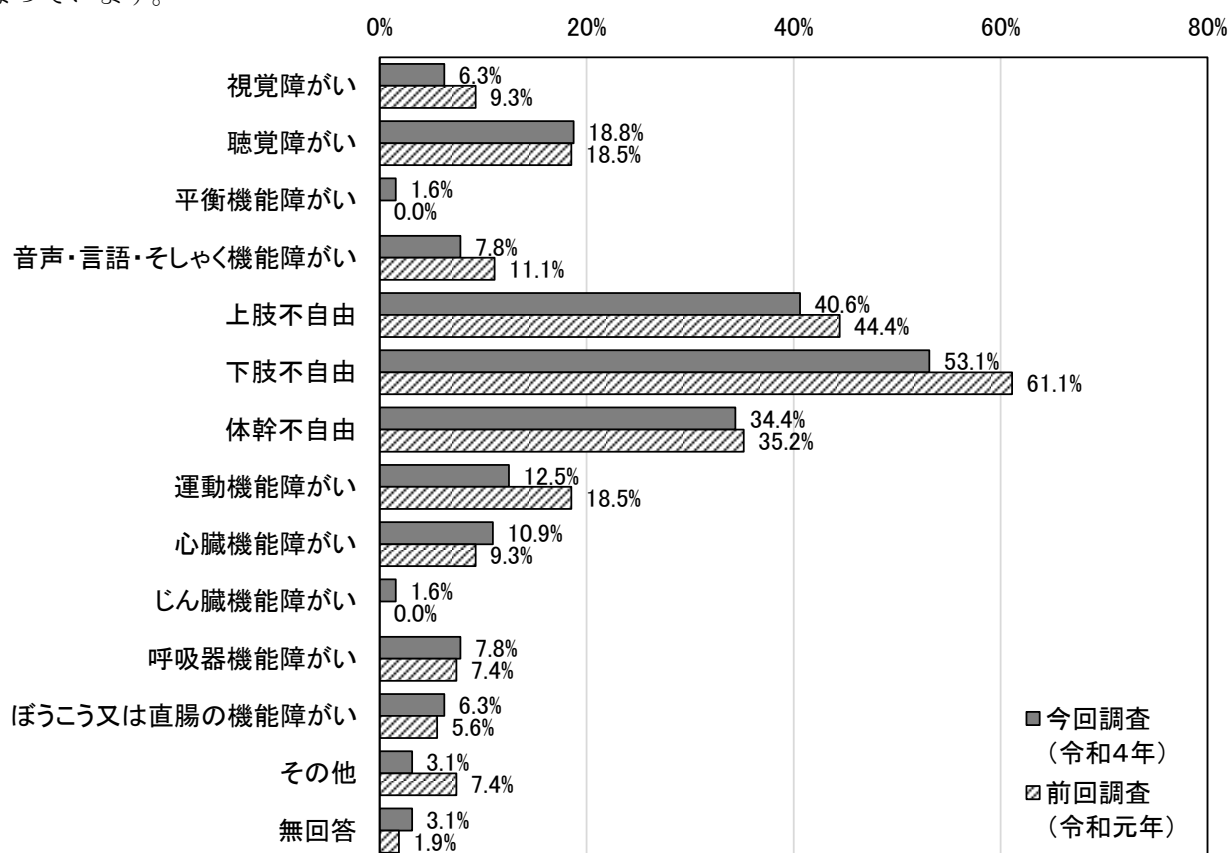


	度数	構成比
1級	3	12.0%
2級	15	60.0%
3級	6	24.0%
無回答	1	4.0%
回答者数	25	

【問3-1で「身体障害者手帳」と回答した方におたずねします。】

問3-2 お子さんはどのような障がいがありますか。(当てはまるものすべてに)

「下肢不自由」が53.1%と最も多く、次いで「上肢不自由」が40.6%、「体幹不自由」が34.4%となっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
視覚障がい	4	6.3%	5	9.3%
聴覚障がい	12	18.8%	10	18.5%
平衡機能障がい	1	1.6%	0	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	5	7.8%	6	11.1%
上肢不自由	26	40.6%	24	44.4%
下肢不自由	34	53.1%	33	61.1%
体幹不自由	22	34.4%	19	35.2%
運動機能障がい	8	12.5%	10	18.5%
心臓機能障がい	7	10.9%	5	9.3%
じん臓機能障がい	1	1.6%	0	0.0%
呼吸器機能障がい	5	7.8%	4	7.4%
ぼうこう又は直腸の機能障がい	4	6.3%	3	5.6%
その他	2	3.1%	4	7.4%
無回答	2	3.1%	1	1.9%
回答者数	64		54	

【前回比較】

前回調査と比較すると、「下肢不自由」が8.0ポイント少なくなっています。

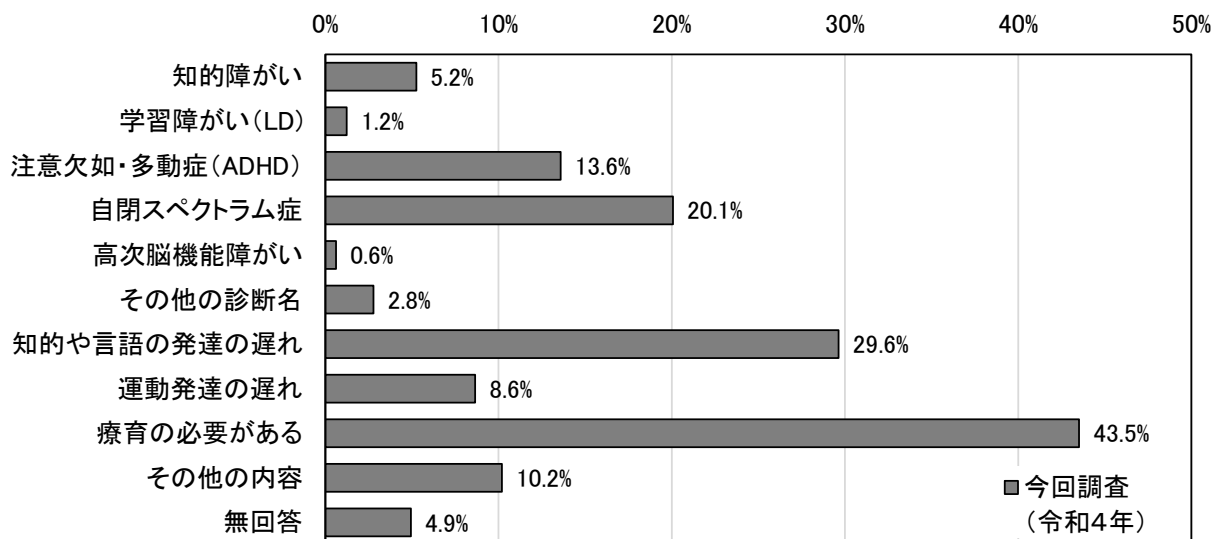
その他

■両母指、示指機能全廃、右母指欠損。

【問3で「持っていない」と回答した方におたずねします。】

問3-3 障害児通所支援利用申請時に提出した診断書にはどのような診断（又は障がいの内容）が書かれていましたか。（当てはまるものすべてに）

「療育の必要がある」が43.5%と最も多く、次いで「知的や言語の発達の遅れ」が29.6%、「自閉スペクトラム症」が20.1%となっています。



	度数	構成比
知的障がい	17	5.2%
学習障がい(LD)	4	1.2%
注意欠如・多動症(ADHD)	44	13.6%
自閉スペクトラム症	65	20.1%
高次脳機能障がい	2	0.6%
その他の診断名	9	2.8%
知的や言語の発達の遅れ	96	29.6%
運動発達の遅れ	28	8.6%
療育の必要がある	141	43.5%
その他の内容	33	10.2%
無回答	16	4.9%
回答者数	324	

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「療育の必要がある」、「0歳～2歳（未就学）」で8割を超えています。

	知的障がい	学習障がい(LD)	注意欠如・多動症(ADHD)	自閉スペクトラム症	高次脳機能障がい	その他の診断名
全体	17 5.2%	4 1.2%	44 13.6%	65 20.1%	2 0.6%	9 2.8%
0～2歳 (未就学)	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3～5歳 (未就学)	6 4.7%	0 0.0%	3 2.3%	21 16.4%	0 0.0%	0 0.0%
6～8歳 (小学校低学年)	3 3.6%	1 1.2%	16 19.3%	23 27.7%	1 1.2%	2 2.4%
9～11歳 (小学校高学年)	5 6.9%	2 2.8%	19 26.4%	17 23.6%	0 0.0%	4 5.6%
12～14歳 (中学生)	2 10.0%	0 0.0%	4 20.0%	3 15.0%	1 5.0%	2 10.0%
15～17歳 (高校生)	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	知的や言語の発達の遅れ	運動発達の遅れ	療育の必要がある	その他の内容	無回答	回答者数
全体	96 29.6%	28 8.6%	141 43.5%	33 10.2%	16 4.9%	324
0～2歳 (未就学)	5 41.7%	3 25.0%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	12
3～5歳 (未就学)	56 43.8%	13 10.2%	59 46.1%	13 10.2%	5 3.9%	128
6～8歳 (小学校低学年)	17 20.5%	6 7.2%	39 47.0%	13 15.7%	1 1.2%	83
9～11歳 (小学校高学年)	14 19.4%	6 8.3%	25 34.7%	2 2.8%	7 9.7%	72
12～14歳 (中学生)	4 20.0%	0 0.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	20
15～17歳 (高校生)	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	4

その他の診断名

- 神経発達症
- ASD
- 発達遅滞
- グレーゾーン
- うつ病・解離性障害
- 広汎性発達障害（3件）
- 発達性協調運動障害

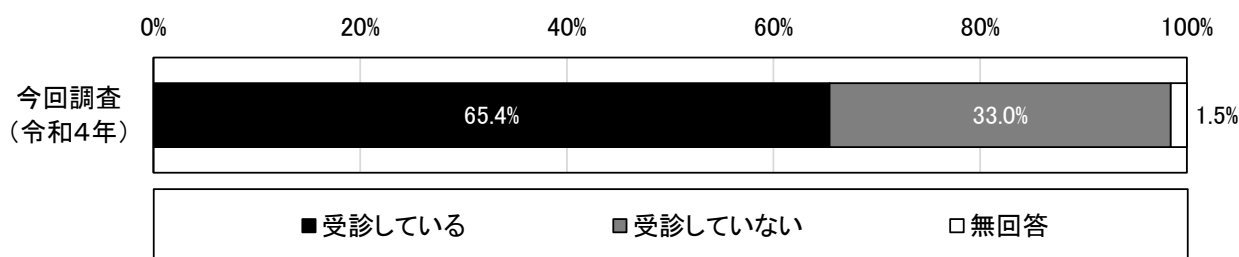
その他の内容

- グレーゾーン
- 発達の偏り（10件）
- 発達の遅れ（3件）
- 勉強がおこなわれている
- 集団行動がニガテなため訓練したかった
- ADHD、グレーゾーン
- 筋ジストロフィー
- 超低体重児だったので
- 欠神てんかん
- 覚えていない
- 自閉症のうたがひ

【問3で「持っていない」と回答した方におたずねします。】

問3-4 問3-3で回答した症状について、医療機関を定期的を受診していますか。(1つのみ)

「受診している」が65.4%、「受診していない」が33.0%となっています。



	度数	構成比
受診している	212	65.4%
受診していない	107	33.0%
無回答	5	1.5%
合計	324	100.0%

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「受診していない」は、「12歳～14歳（中学生）」で6割を超えています。

	受診している	受診していない	無回答	合計
全体	212 65.4%	107 33.0%	5 1.5%	324 100.0%
0～2歳 (未就学)	9 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	12 100.0%
3～5歳 (未就学)	87 68.0%	37 28.9%	4 3.1%	128 100.0%
6～8歳 (小学校低学年)	59 71.1%	24 28.9%	0 0.0%	83 100.0%
9～11歳 (小学校高学年)	46 63.9%	26 36.1%	0 0.0%	72 100.0%
12～14歳 (中学生)	7 35.0%	13 65.0%	0 0.0%	20 100.0%
15～17歳 (高校生)	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
無回答	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	4 100.0%

問4 日常的に医療的ケア（問4-1参照）を必要としていますか。（1つのみ）

「医療的ケアが必要」が3.6%、「医療的ケアは必要ない」が91.7%となっています。

	医療的ケアが必要	医療的ケアは必要ない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	24	611	31	666
	3.6%	91.7%	4.7%	100.0%

【前回比較】

今回調査にて、身体障害者手帳所持者のうち、医療的ケアが必要な子どもを前回調査、前々回調査と比較すると、「医療的ケアが必要」は、2割を超えています。

	医療的ケアが必要	医療的ケアは必要ない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	15	47	2	64
	23.4%	73.4%	3.1%	100.0%
前回調査(令和元年)	15	33	6	54
	27.8%	61.1%	11.1%	100.0%
前々回調査(平成29年)	12	38	2	52
	23.1%	73.1%	3.8%	100.0%

【年齢別クロス】

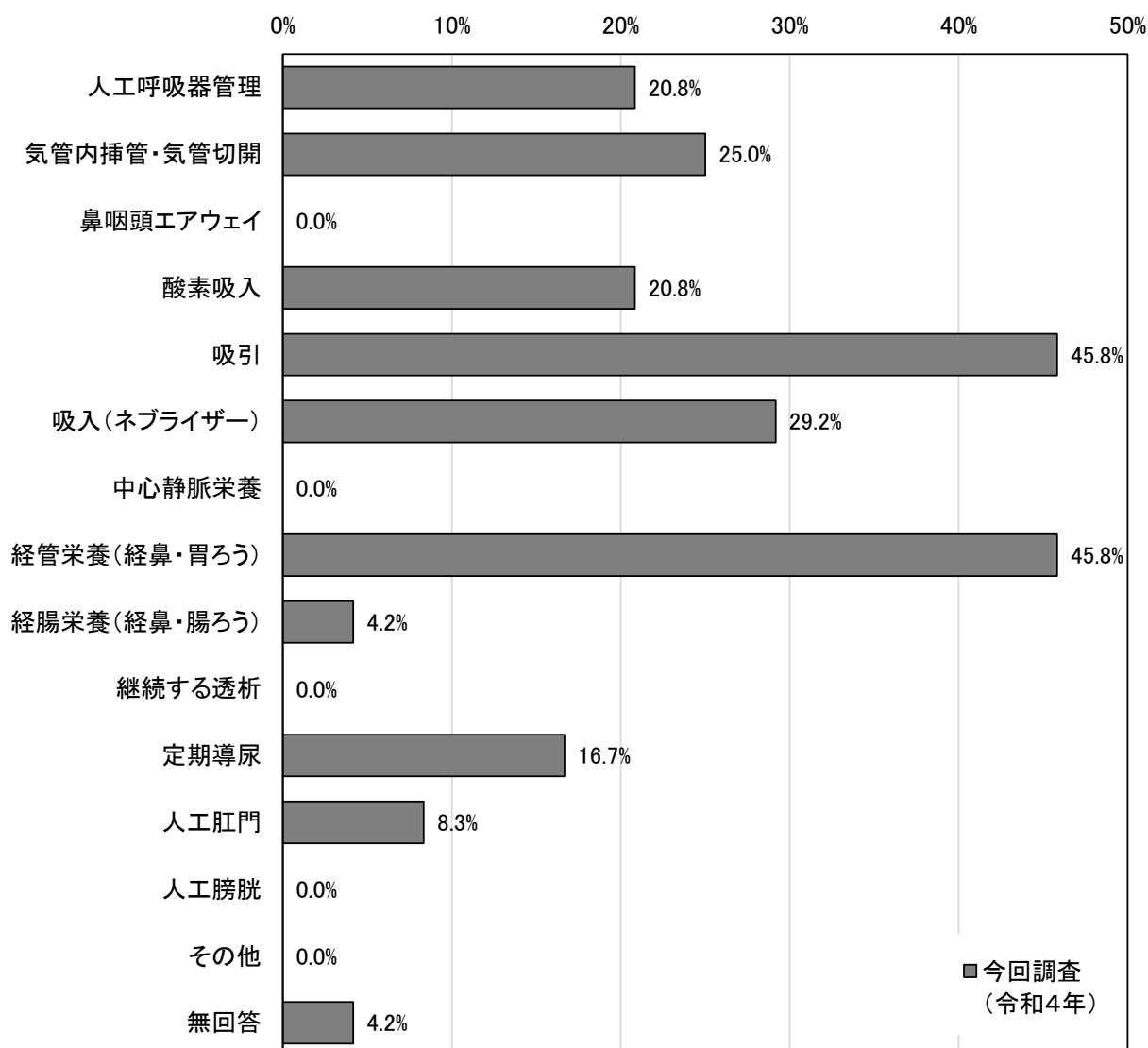
年齢別でクロスすると、「医療的ケアが必要」では、「3～5歳（未就学）」「6～8歳（小学校低学年）」がともに7件と最も多くなっています。

	医療的ケアが必要	医療的ケアは必要ない	無回答	合計
全体	24	611	31	666
	3.6%	91.7%	4.7%	100.0%
0～2歳 (未就学)	1	16	0	17
	5.9%	94.1%	0.0%	100.0%
3～5歳 (未就学)	7	156	7	170
	4.1%	91.8%	4.1%	100.0%
6～8歳 (小学校低学年)	7	142	4	153
	4.6%	92.8%	2.6%	100.0%
9～11歳 (小学校高学年)	0	131	8	139
	0.0%	94.2%	5.8%	100.0%
12～14歳 (中学生)	4	96	6	106
	3.8%	90.6%	5.7%	100.0%
15～17歳 (高校生)	4	65	4	73
	5.5%	89.0%	5.5%	100.0%
無回答	1	5	2	8
	12.5%	62.5%	25.0%	100.0%

【問4で「医療的ケアが必要」と回答した方におたずねします。】

問4-1 具体的なケアの内容は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「吸引」「経管栄養(経鼻・胃ろう)」が45.8%と最も多く、次いで「吸入(ネブライザー)」が29.2%、「気管内挿管・気管切開」が25.0%となっています。



	度数	構成比
人工呼吸器管理	5	20.8%
気管内挿管・気管切開	6	25.0%
鼻咽頭エアウェイ	0	0.0%
酸素吸入	5	20.8%
吸引	11	45.8%
吸入(ネブライザー)	7	29.2%
中心静脈栄養	0	0.0%
経管栄養(経鼻・胃ろう)	11	45.8%
経腸栄養(経鼻・腸ろう)	1	4.2%
継続する透析	0	0.0%
定期導尿	4	16.7%
人工肛門	2	8.3%
人工膀胱	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	4.2%
回答者数	24	

その他

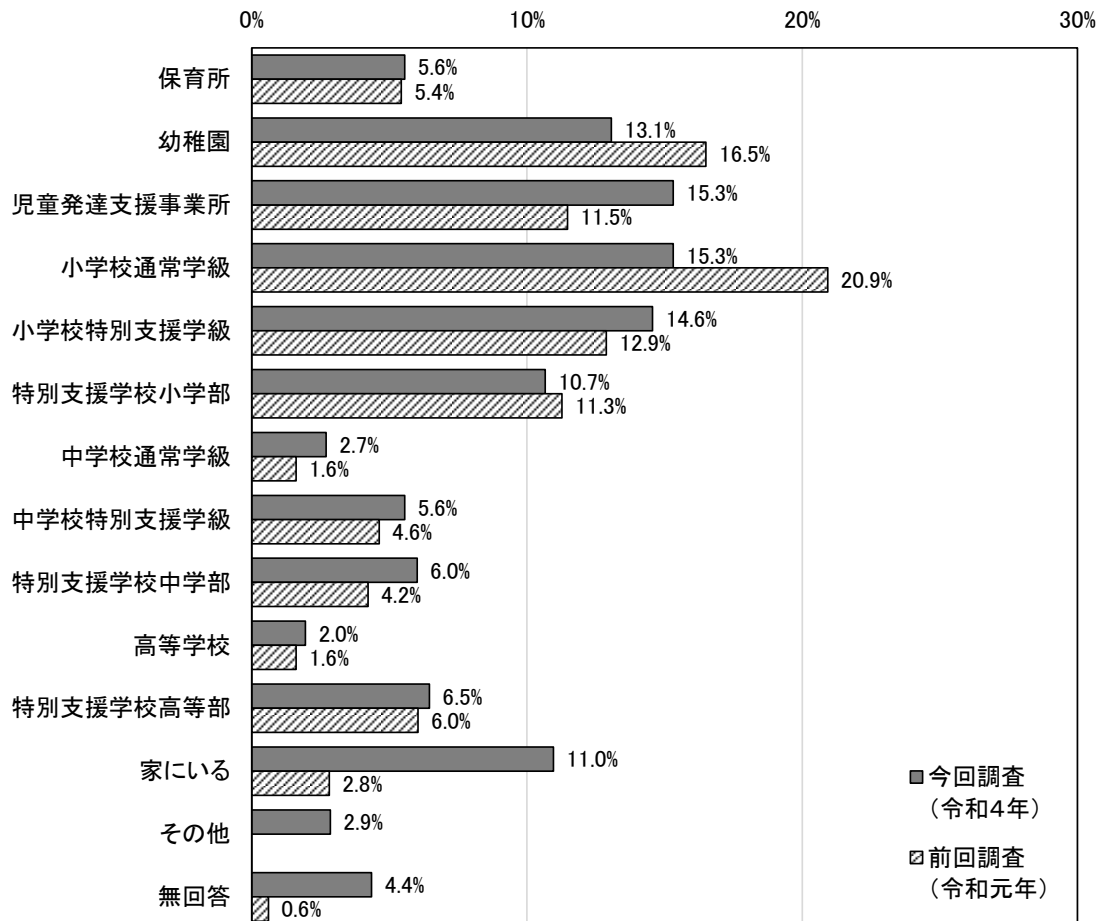
- 浣腸
- 水頭症
- 鉄剤摂取
- 1型糖尿病
- 成長ホルモン
- 鼻炎、精神内科、薬の調達

問5 お子さんが平日の日中、主として過ごしている場はどこですか。(当てはまるものすべてに)

「児童発達支援事業所」「小学校通常学級」が15.3%と最も多く、次いで「小学校特別支援学級」が14.6%、「幼稚園」が13.1%となっています。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「幼稚園」が3.4ポイント、「小学校通常学級」が5.6ポイント少なくなっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
保育所	37	5.6%	27	5.4%
幼稚園	87	13.1%	82	16.5%
児童発達支援事業所	102	15.3%	57	11.5%
小学校通常学級	102	15.3%	104	20.9%
小学校特別支援学級	97	14.6%	64	12.9%
特別支援学校小学部	71	10.7%	56	11.3%
中学校通常学級	18	2.7%	8	1.6%
中学校特別支援学級	37	5.6%	23	4.6%
特別支援学校中学部	40	6.0%	21	4.2%
高等学校	13	2.0%	8	1.6%
特別支援学校高等部	43	6.5%	30	6.0%
家にいる	73	11.0%	14	2.8%
その他	19	2.9%	-	-
無回答	29	4.4%	3	0.6%
回答者数	666	-	497	-

※「その他」は、今回調査からの追加選択肢となるのでクロスなし。

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「0～2歳（未就学）」では、「家にいる」、「3～5歳（未就学）」では、「幼稚園」、「6～8歳（小学校低学年）」では「小学校通常学級」、「9～11歳（小学校高学年）」では、「小学校特別支援学級」、「12～14歳（中学生）」では、「特別支援学校中学部」、「15～17歳（高校生）」では、「特別支援学校高等部」が多くなっています。

	保育所	幼稚園	児童発達支援事業所	小学校通常学級	小学校特別支援学級	特別支援学校小学部	中学校通常学級	中学校特別支援学級
全体	37 5.6%	87 13.1%	102 15.3%	102 15.3%	97 14.6%	71 10.7%	18 2.7%	37 5.6%
0～2歳 (未就学)	0 0.0%	2 11.8%	10 58.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3～5歳 (未就学)	32 18.8%	80 47.1%	67 39.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6～8歳 (小学校低学年)	3 2.0%	4 2.6%	12 7.8%	53 34.6%	47 30.7%	34 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
9～11歳 (小学校高学年)	0 0.0%	0 0.0%	7 5.0%	47 33.8%	49 35.3%	36 25.9%	0 0.0%	0 0.0%
12～14歳 (中学生)	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	18 17.0%	36 34.0%
15～17歳 (高校生)	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%
無回答	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	特別支援学校中学部	高等学校	特別支援学校高等部	家にいる	その他	無回答	回答者数	
全体	40 6.0%	13 2.0%	43 6.5%	73 11.0%	19 2.9%	29 4.4%	666	
0～2歳 (未就学)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 76.5%	0 0.0%	1 5.9%	17	
3～5歳 (未就学)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 11.2%	2 1.2%	7 4.1%	170	
6～8歳 (小学校低学年)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.6%	6 3.9%	7 4.6%	153	
9～11歳 (小学校高学年)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 5.8%	3 2.2%	6 4.3%	139	
12～14歳 (中学生)	38 35.8%	0 0.0%	0 0.0%	10 9.4%	0 0.0%	5 4.7%	106	
15～17歳 (高校生)	2 2.7%	13 17.8%	43 58.9%	18 24.7%	7 9.6%	2 2.7%	73	
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	8	

その他

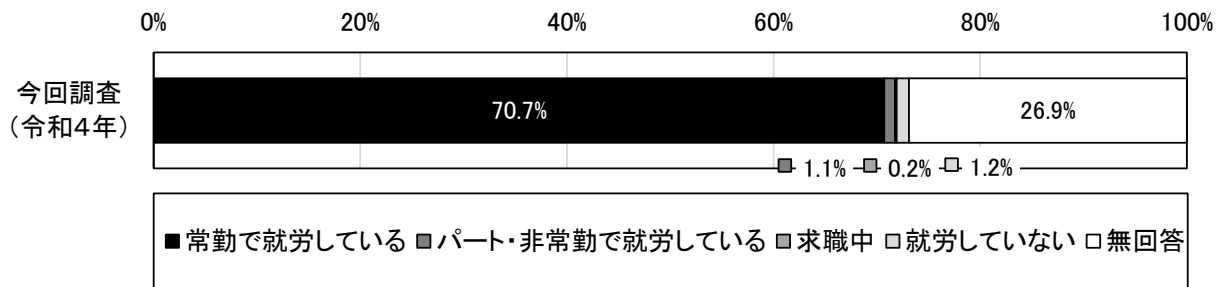
- アルバイト
- 放課後等デイサービス（6件）
- グループホーム
- 定時制高等学校
- 通信制高校
- 民間学童
- 児童クラブ
- 小学校、指定技能施設
- 習い事
- 通信高校サポート校
- 盲学校
- 寮

2 ご家族の状況について

問6 保護者の就労状況についてご回答ください。

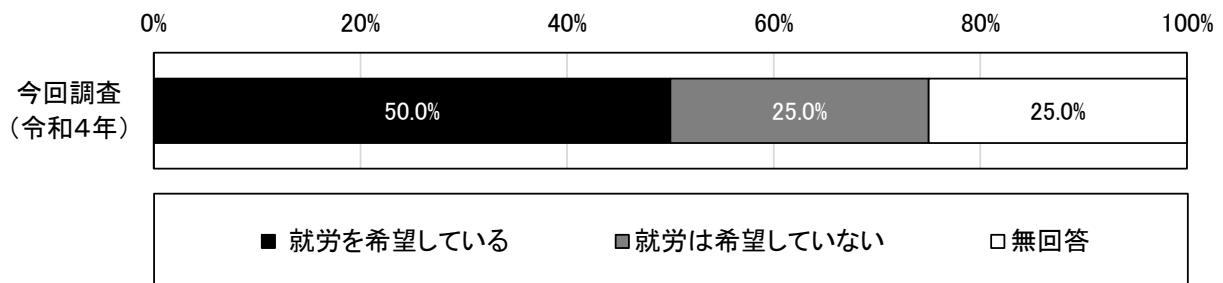
● (1) 父

「常勤で就労している」が70.7%と最も多く、次いで「就労していない」が1.2%、「パート・非常勤で就労している」が1.1%となっています。



	常勤で就労している	パート・非常勤で就労している	求職中	就労していない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	471	7	1	8	179	666
	70.7%	1.1%	0.2%	1.2%	26.9%	100.0%

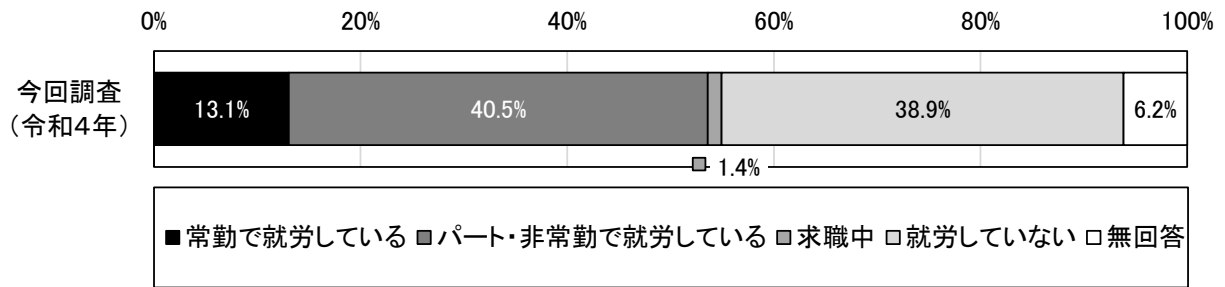
● 【就労していない者のうち就労希望】



	就労を希望している	就労は希望していない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	4	2	2	8
	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%

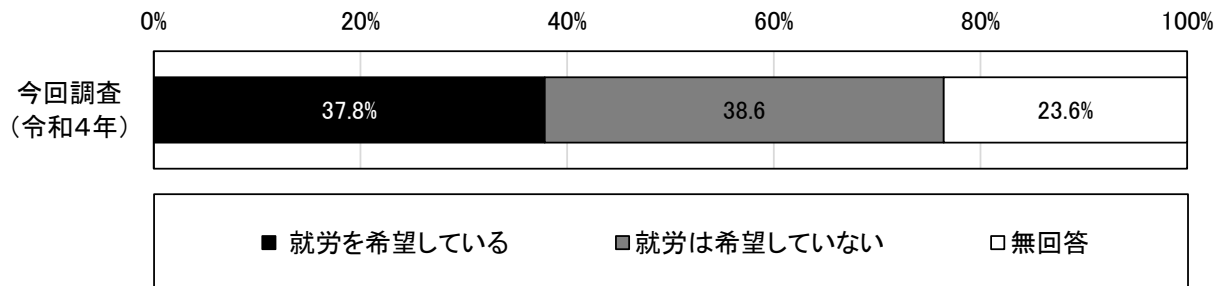
● (2) 母

「パート・非常勤で就労している」が40.5%と最も多く、次いで「就労していない」が38.9%、「常勤で就労している」が13.1%となっています。



	常勤で就労している	パート・非常勤で就労している	求職中	就労していない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	87 13.1%	270 40.5%	9 1.4%	259 38.9%	41 6.2%	666 100.0%

● 【就労していない者のうち就労希望】



	就労を希望している	就労は希望していない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	98 37.8%	100 38.6%	61 23.6%	259 100.0%

【医療的ケアの必要別クロス】

医療的ケアの必要別でクロスすると、医療的ケアが必要な家庭の母親で現在就労しておらず、就労を希望している方は、14件中10件が就労を希望している状況となっています。

		医療的ケア が必要	医療的ケア は必要ない	無回答	合計
父	常勤で就労している	19 4.0%	439 93.2%	13 2.8%	471 100.0%
	パート・非常勤で就労している	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%
	求職中	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
	就労していない	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%	8 100.0%
	無回答	4 2.2%	157 87.7%	18 10.1%	179 100.0%
	就労していない_就労を希望している	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	4 100.0%
	就労していない_就労を希望していない	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
	母	常勤で就労している	3 3.4%	82 94.3%	2 2.3%
パート・非常勤で就労している	4 1.5%	257 95.2%	9 3.3%	270 100.0%	
求職中	0 0.0%	8 88.9%	1 11.1%	9 100.0%	
就労していない	14 5.4%	231 89.2%	14 5.4%	259 100.0%	
無回答	3 7.3%	33 80.5%	5 12.2%	41 100.0%	
就労していない_就労を希望している	10 10.2%	79 80.6%	9 9.2%	98 100.0%	
就労していない_就労を希望していない	3 3.0%	95 95.0%	2 2.0%	100 100.0%	

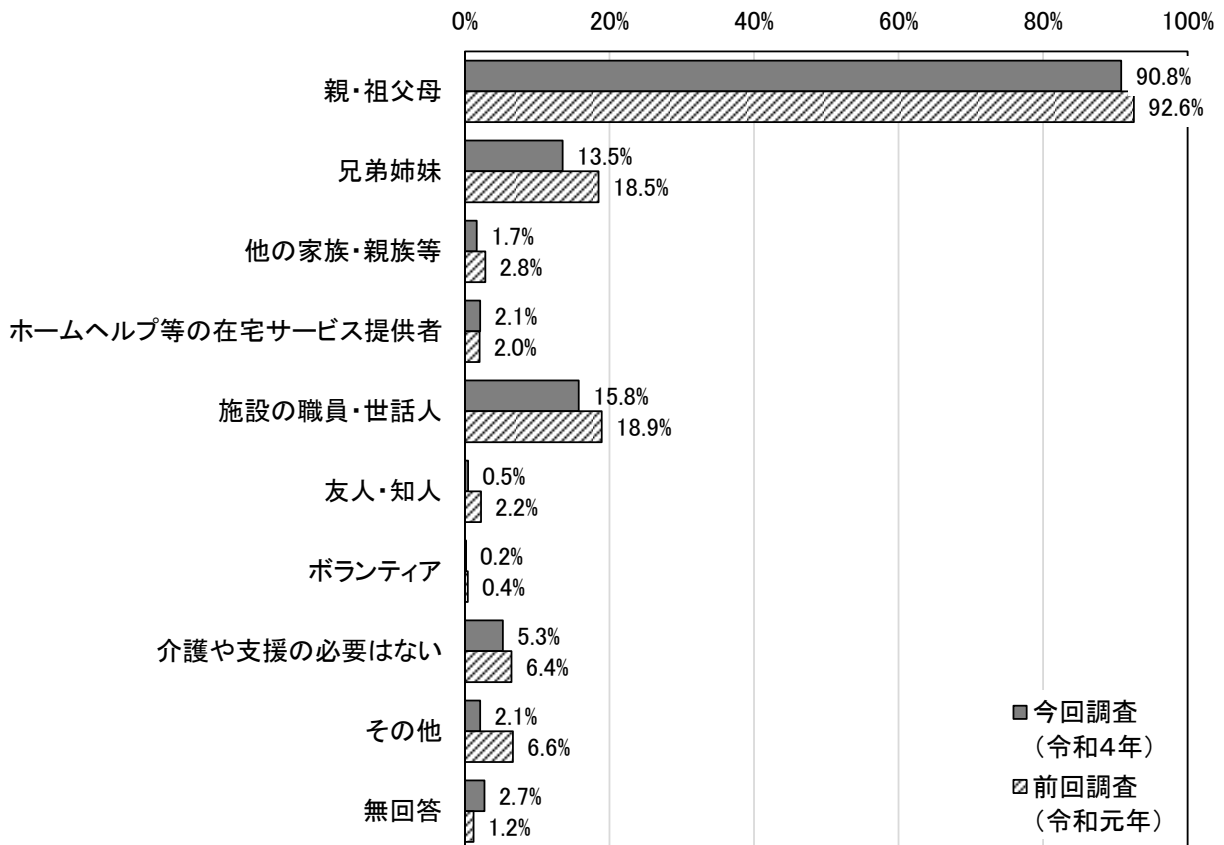
問7 お子さんの介助や支援をしている人はどなたですか。

※お子さんからみた続柄（関係）でお答えください。（当てはまるものすべてに）

「親・祖父母」が90.8%と最も多く、次いで「施設の職員・世話人」が15.8%、「兄弟姉妹」が13.5%となっています。

【前回比較】

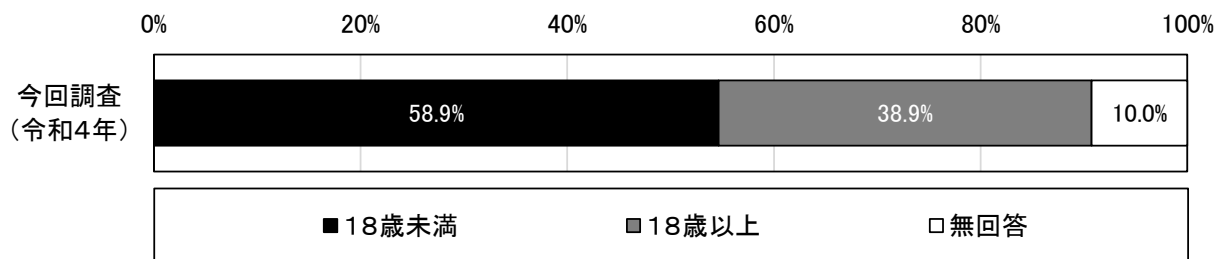
前回調査と比較すると、「親・祖父母」が1.8ポイント、「兄弟姉妹」が5.0ポイント、「施設の職員・世話人」が3.1ポイント少なくなっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
親・祖父母	605	90.8%	460	92.6%
兄弟姉妹	90	13.5%	92	18.5%
他の家族・親族等	11	1.7%	14	2.8%
ホームヘルプ等の在宅サービス提供者	14	2.1%	10	2.0%
施設の職員・世話人	105	15.8%	94	18.9%
友人・知人	3	0.5%	11	2.2%
ボランティア	1	0.2%	2	0.4%
介護や支援の必要はない	35	5.3%	32	6.4%
その他	14	2.1%	33	6.6%
無回答	18	2.7%	6	1.2%
回答者数	666		497	

● 【18歳未満・以上】

「兄弟姉妹」と回答した方の内、「18歳未満」が58.9%、「18歳以上」が38.9%となっています。



	18歳未満	18歳以上	無回答	合計
今回調査(令和4年)	53	35	9	90
	58.9%	38.9%	10.0%	100.0%

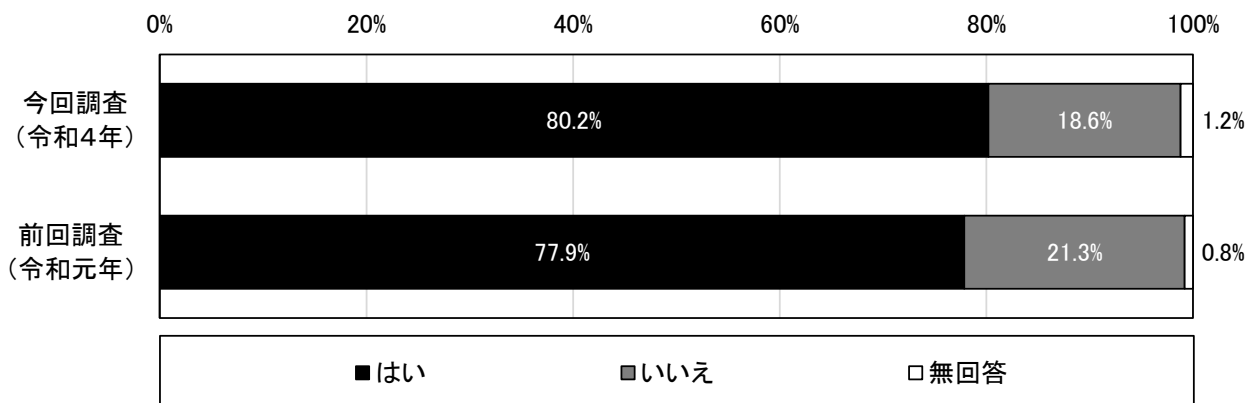
3 障害児通所支援事業について

問8 お子さんは、障害児通所支援を利用していますか。(1つのみ)

「はい」が80.2%、「いいえ」が18.6%となっています。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「はい」が2.3ポイント多くなっています。また、「いいえ」が2.7ポイント少なくなっています。



	はい	いいえ	無回答	合計
今回調査(令和4年)	534	124	8	666
	80.2%	18.6%	1.2%	100.0%

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「はい」では、『0歳～11歳』で8割を超えています。

	はい	いいえ	無回答	合計
全体	534	124	8	666
	80.2%	18.6%	1.2%	100.0%
0～2歳 (未就学)	17	0	0	17
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3～5歳 (未就学)	152	15	3	170
	89.4%	8.8%	1.8%	100.0%
6～8歳 (小学校低学年)	132	21	0	153
	86.3%	13.7%	0.0%	100.0%
9～11歳 (小学校高学年)	115	22	2	139
	82.7%	15.8%	1.4%	100.0%
12～14歳 (中学生)	74	32	0	106
	69.8%	30.2%	0.0%	100.0%
15～17歳 (高校生)	39	33	1	73
	53.4%	45.2%	1.4%	100.0%
無回答	5	1	2	8
	62.5%	12.5%	25.0%	100.0%

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

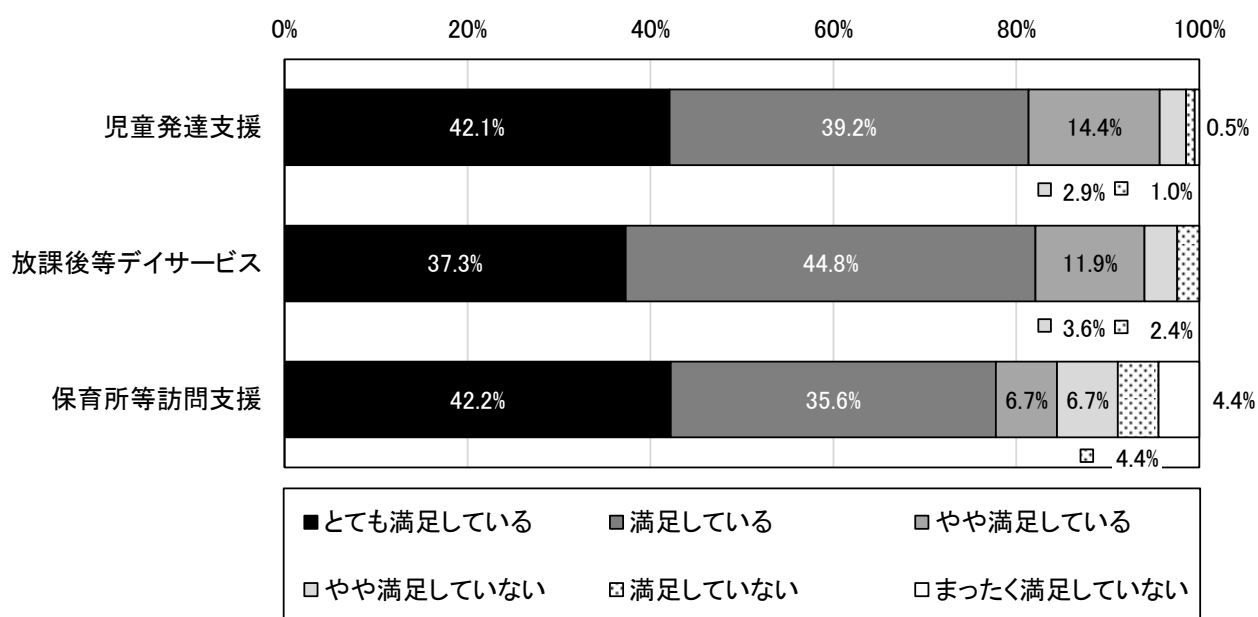
問8-1 利用している障害児通所支援事業所についておたずねします。

● ① 障害児通所支援の満足度について

障害児通所支援の満足度について、「児童発達支援」では、『満足している』（とても満足している+満足している+やや満足している）が95.7%、『満足していない』（やや満足していない+満足していない+まったく満足していない）が4.4%となっています。

「放課後等デイサービス」では、『満足』が94.0%、『満足していない』が6.0%となっています。

「保育所等訪問支援」では、『満足』が84.5%、『満足していない』が15.5%となっています。



	とても満足している	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	まったく満足していない	合計
児童発達支援	88 42.1%	82 39.2%	30 14.4%	6 2.9%	2 1.0%	1 0.5%	209 100.0%
放課後等デイサービス	125 37.3%	150 44.8%	40 11.9%	12 3.6%	8 2.4%	0 0.0%	335 100.0%
保育所等訪問支援	19 42.2%	16 35.6%	3 6.7%	3 6.7%	2 4.4%	2 4.4%	45 100.0%

【障害者手帳別クロス児童発達支援】

障害者手帳別でクロスすると、「身体障害者手帳」では、『満足』が100.0%、『満足していない』が0.0%となっています。

「療育手帳」では、『満足』が94.3%、『満足していない』が5.7%となっています。

「精神障害者保健福祉手帳」では、『満足』が100.0%、『満足していない』が0.0%となっています。

	とても満足している	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	まったく満足していない	合計
全体	88 42.1%	82 39.2%	30 14.4%	6 2.9%	2 1.0%	1 0.5%	209 100.0%
身体障害者手帳	2 16.7%	5 41.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
療育手帳	20 37.7%	25 47.2%	5 9.4%	2 3.8%	0 0.0%	1 1.9%	53 100.0%
精神障害者保健福祉手帳	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
(障害者手帳を)持っていない	63 46.0%	51 37.2%	18 13.1%	3 2.2%	2 1.5%	0 0.0%	137 100.0%

※各設問において、障害の種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。

【障害者手帳別クロス放課後等デイサービス】

障害者手帳別でクロスすると、「身体障害者手帳」では、『満足』が92.9%、『満足していない』が7.2%となっています。

「療育手帳」では、『満足』が94.6%、『満足していない』が5.4%となっています。

「精神障害者保健福祉手帳」では、『満足』が100.0%、『満足していない』が0.0%となっています。

	とても満足している	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	まったく満足していない	合計
全体	125 37.3%	150 44.8%	40 11.9%	12 3.6%	8 2.4%	0 0.0%	335 100.0%
身体障害者手帳	12 42.9%	10 35.7%	4 14.3%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	28 100.0%
療育手帳	65 39.4%	76 46.1%	15 9.1%	6 3.6%	3 1.8%	0 0.0%	165 100.0%
精神障害者保健福祉手帳	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
(障害者手帳を)持っていない	49 33.8%	66 45.5%	20 13.8%	5 3.4%	5 3.4%	0 0.0%	145 100.0%

※各設問において、障害の種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。

【障がい手帳別クロス保育所等訪問支援】

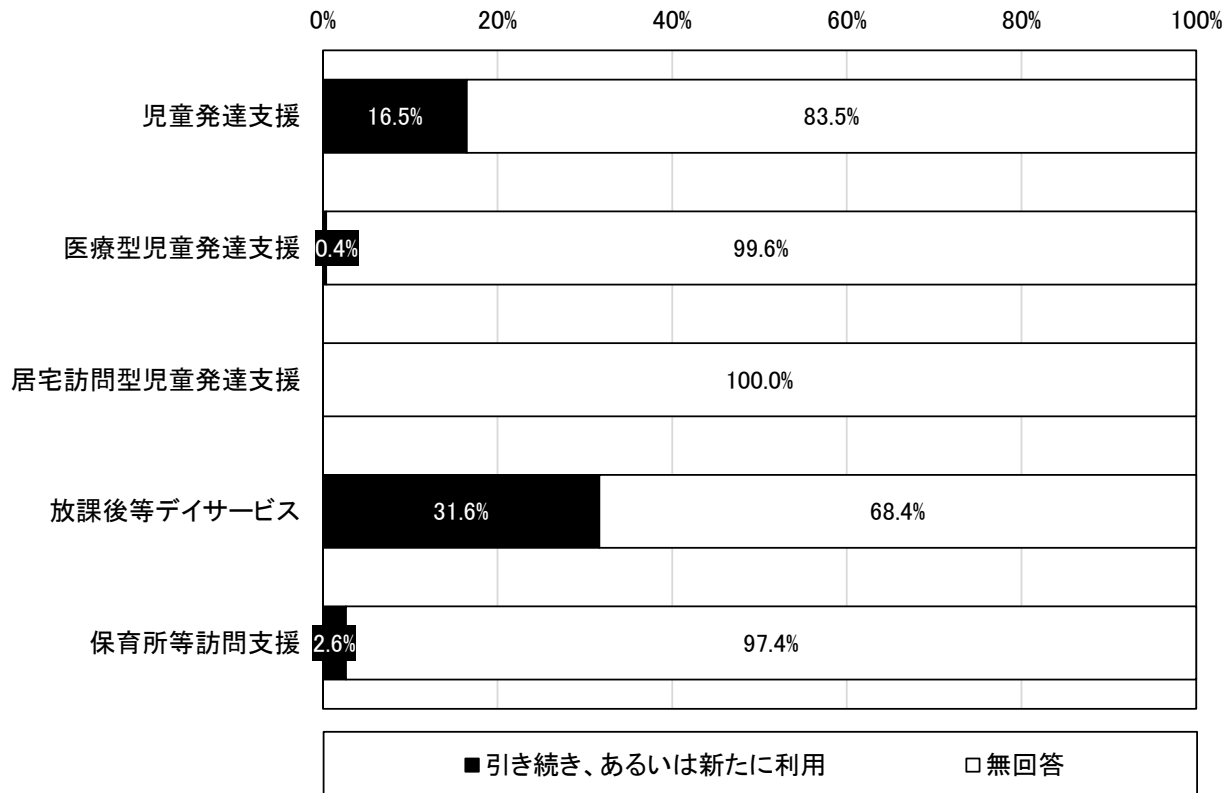
障害者手帳別でクロスすると、すべての障がい別で、『満足』が100.0%、『満足していない』が0.0%となっています。

	とても満足している	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	まったく満足していない	合計
全体	19 42.2%	16 35.6%	3 6.7%	3 6.7%	2 4.4%	2 4.4%	45 100.0%
身体障害者手帳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
療育手帳	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
精神障害者保健福祉手帳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
(障害者手帳を)持っていない	17 47.2%	10 27.8%	2 5.6%	3 8.3%	2 5.6%	2 5.6%	36 100.0%

※各設問において、障害の種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。

● ② 障害児通所支援の今後の利用について

「放課後等デイサービス」が31.6%と最も多く、次いで「児童発達支援」が16.5%、「保育所等訪問支援」が2.6%となっています。



	引き続き、 あるいは新 たに利用	無回答	合計
児童発達支援	88 16.5%	446 83.5%	534 100.0%
医療型児童発達支援	2 0.4%	532 99.6%	534 100.0%
居宅訪問型児童発達支援	0 0.0%	534 100.0%	534 100.0%
放課後等デイサービス	169 31.6%	365 68.4%	534 100.0%
保育所等訪問支援	14 2.6%	520 97.4%	534 100.0%

※各設問において、障害の種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。

【問8-1で「とても満足している」「満足している」「やや満足している」と回答した方におたずねします。】

問8-2 満足している理由をお答えください。

利用している障害児通所支援事業所について『満足している』と回答した人の満足している理由として、「子どもの成長に合わせたサービス」「サービス内容に満足」「楽しく通っている」「保護者の希望に沿ってくれる」という意見などがみられます。主に保護者や子どもの希望に沿ったサービス内容や保護者の負担を減らす送迎面などの意見がみられます。

【問8-1で「やや満足していない」「満足していない」「まったく満足していない」と回答した方におたずねします。】

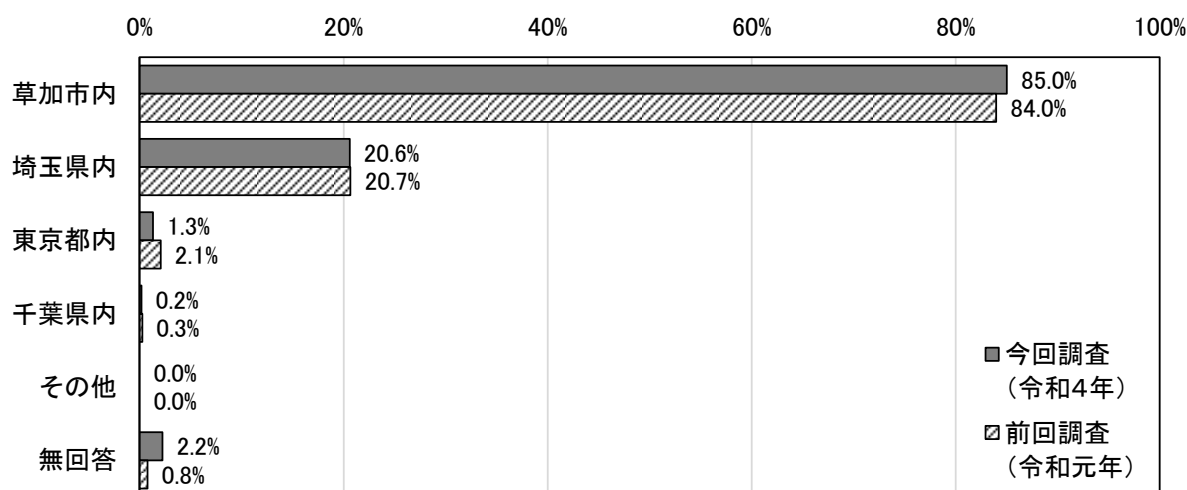
問8-3 満足していない理由をお答えください。

利用している障害児通所支援事業所について『満足していない』と回答した人の満足していない理由として、「個々の支援がなされていない」「職員が少ない・入れ替わりが激しい」という意見がありました。また、「児童が好きなお絵描きやYouTubeをみて終わっていることが多い」など、単なる児童の預かりと感じているという意見がみられます。

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-4 利用している事業所の所在地をできるだけ具体的に教えてください。
(当てはまるものすべてに)

「草加市内」が85.0%と最も多く、次いで「埼玉県内」が20.6%、「東京都内」が1.3%となっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
草加市内	454	85.0%	325	84.0%
埼玉県内	110	20.6%	80	20.7%
東京都内	7	1.3%	8	2.1%
千葉県内	1	0.2%	1	0.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	2.2%	3	0.8%
回答者数	534		387	

【問8-4で「埼玉県内」「東京都内」「千葉県内」「その他」と回答した方におたずねします。】

問8-5 草加市外の事業所に通っている理由をお答えください。

草加市外の事業所に通っている理由として、「草加市内に条件の合う事業所がないから」(38件)が最も多い結果となっています。

その他の理由として、「友人関係などの交友関係から事業所を選んでいる」「重症心身障害児に対応している事業所が草加市外にしかないこと」「医療的ケア児が通える事業所が1か所しかないこと」などの意見がみられます。

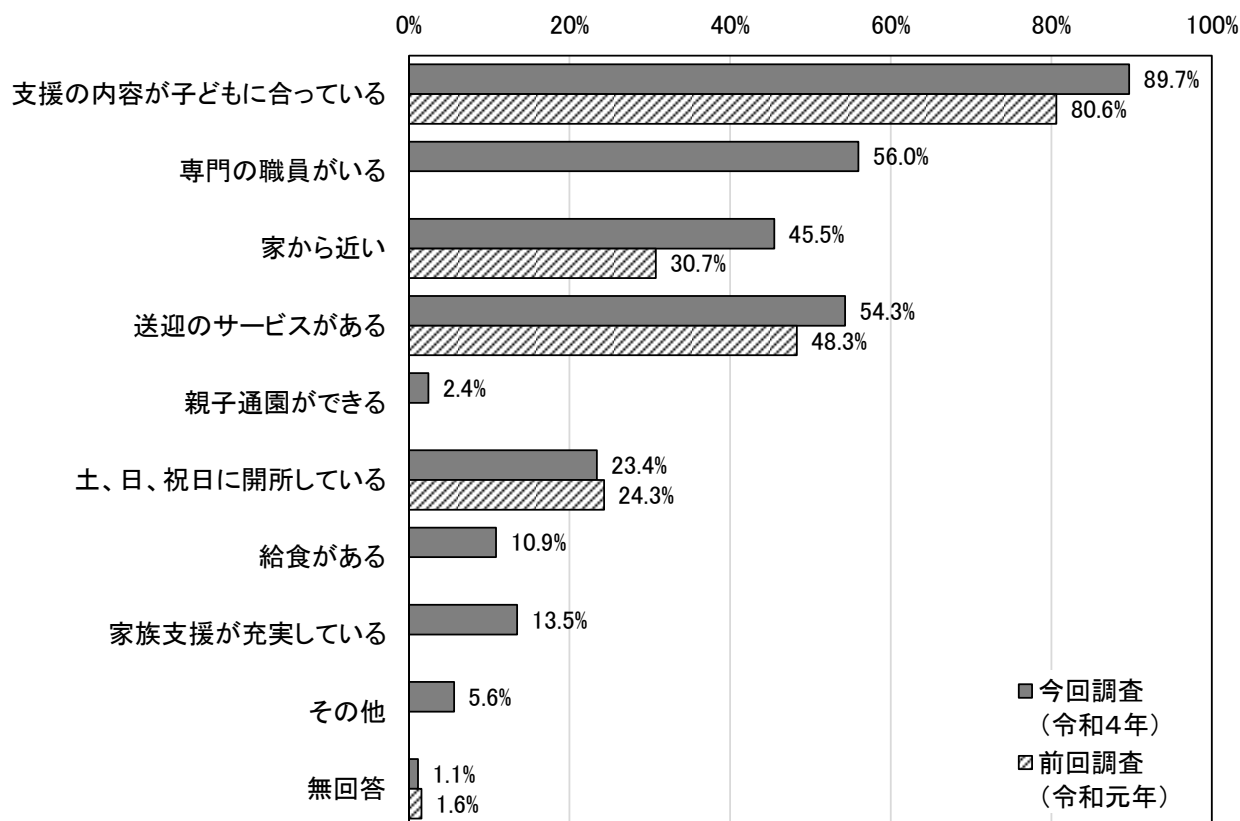
【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-6 サービスを利用する際に、重要視するところはどこですか。(当てはまるものすべてに)

「支援の内容が子どもに合っている」が89.7%と最も多く、次いで「専門の職員がいる」が56.0%、「送迎のサービスがある」が54.3%となっています。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「支援の内容が子どもに合っている」が9.1ポイント、「家から近い」が14.8ポイント多くなっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
支援の内容が子どもに合っている	479	89.7%	312	80.6%
専門の職員がいる	299	56.0%	-	-
家から近い	243	45.5%	119	30.7%
送迎のサービスがある	290	54.3%	187	48.3%
親子通園ができる	13	2.4%	-	-
土、日、祝日に開所している	125	23.4%	94	24.3%
給食がある	58	10.9%	-	-
家族支援が充実している	72	13.5%	-	-
その他	30	5.6%	-	-
無回答	6	1.1%	6	1.6%
回答者数	534	-	387	-

※「専門の職員がいる」「親子通園ができる」「給食がある」「家族支援が充実している」「その他」は、今回調査からの追加選択肢となるのでクロスなし。

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

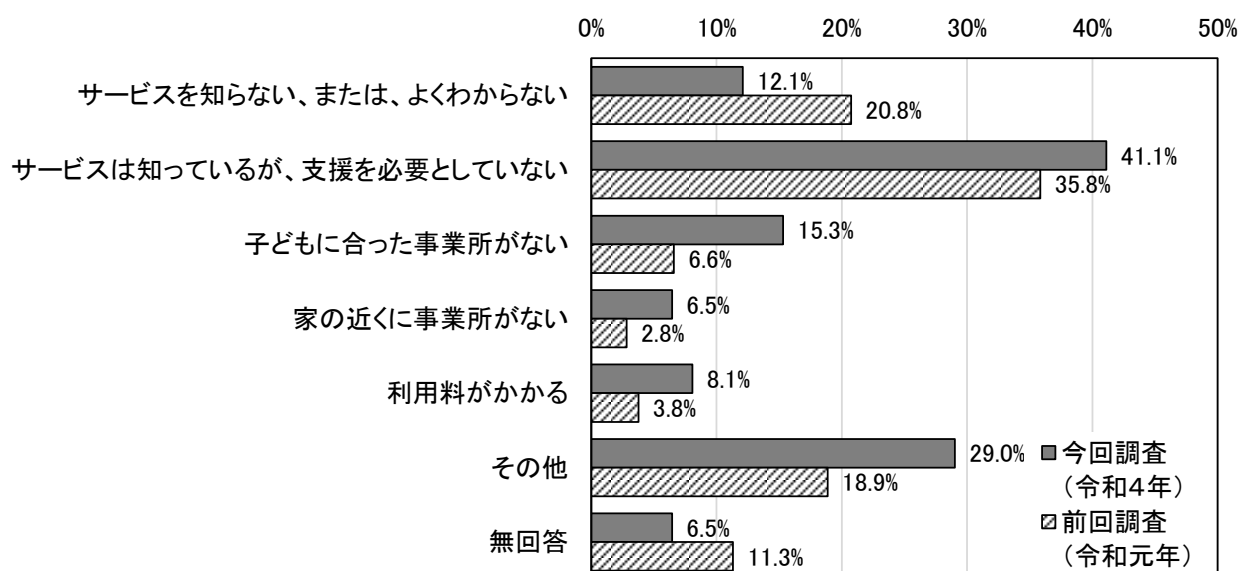
問8-7 さらに充実してほしい療育の内容をお答えください。

障害児通所支援を利用している方で、充実が望まれている療育の内容としては、「専門職員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）による療育」が多い結果となっています。その他の意見として、「言語やコミュニケーションに特化した療育」や「日常生活などの生きていくうえでスキルや社会性の重視」などの意見がみられます。

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-8 障害児通所支援を利用していない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに）

「サービスは知っているが、支援を必要としていない」が41.1%と最も多く、次いで「子どもに合った事業所がない」が15.3%、「サービスを知らない、または、よくわからない」が12.1%となっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
サービスを知らない、または、よくわからない	15	12.1%	22	20.8%
サービスは知っているが、支援を必要としていない	51	41.1%	38	35.8%
子どもに合った事業所がない	19	15.3%	7	6.6%
家の近くに事業所がない	8	6.5%	3	2.8%
利用料がかかる	10	8.1%	4	3.8%
その他	36	29.0%	20	18.9%
無回答	8	6.5%	12	11.3%
回答者数	124		106	

【前回比較】

前回調査と比較すると、「サービスは知っているが、支援を必要としていない」が5.3ポイント、「子どもに合った事業所がない」が8.7ポイント多くなっています。また、「サービスを知らない、または、よくわからない」が8.7ポイント少なくなっています。

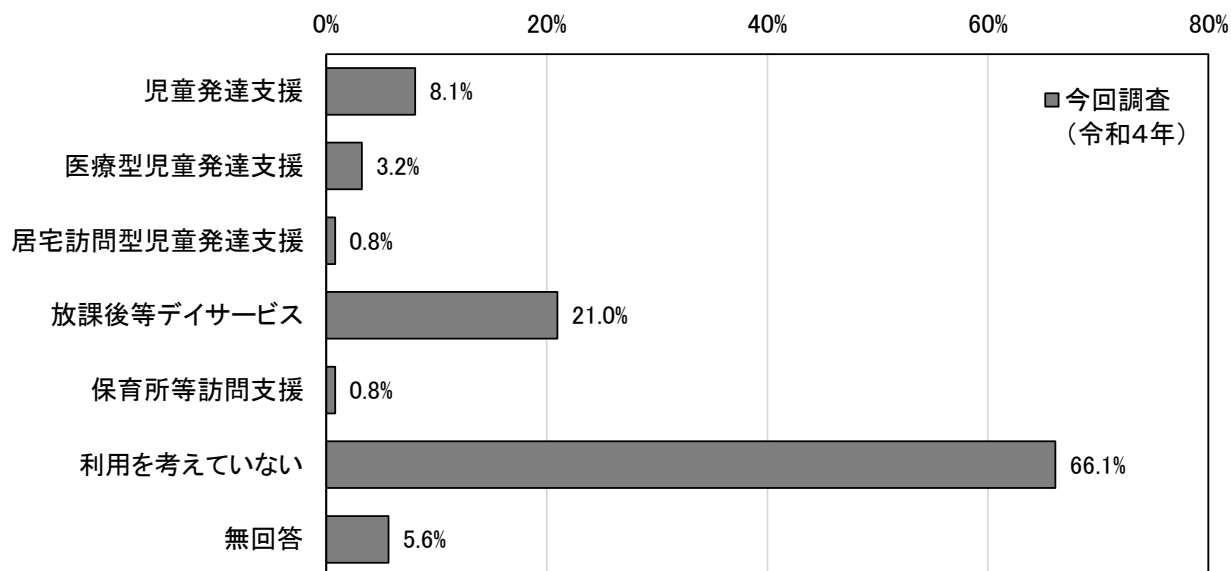
その他

- 通えるところに運動発達に特化したところがない。本人が嫌がる。
- 以前は利用していたが、もう利用しなくてよいと医師にいわれ卒業しました。
- 平日は保育園で過ごし、育成保育を利用しているため。
- 過去利用していたが、現在は必要でなくなったため。
- 放デイに通っていたがこれ以上受けられる支援がなかったので退所した。
- 過去に言葉の遅れで利用させて頂いていましたが、現在は通常に会話したりできるようになったため。
- 支援事業所の人で紹介してくれる話だったのに、連絡すらしてくれない。
- 都合の合う利用できる日時が少ない、本人の選択（行かない）。
- 放課後等デイサービスを利用したかったが、高校（学校）に通っていないと利用できない、と言われたため。
- 療育が終了したから（学校から必要ないと言われた）。
- 希望している所からの連絡待ち（空き待ち）。
- 一年前まで利用していましたが、内容やスケジュールが合わなくなってやめました。

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-9 今後、利用を考えている障害児通所支援は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「利用を考えていない」が66.1%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が21.0%、「児童発達支援」が8.1%となっています。

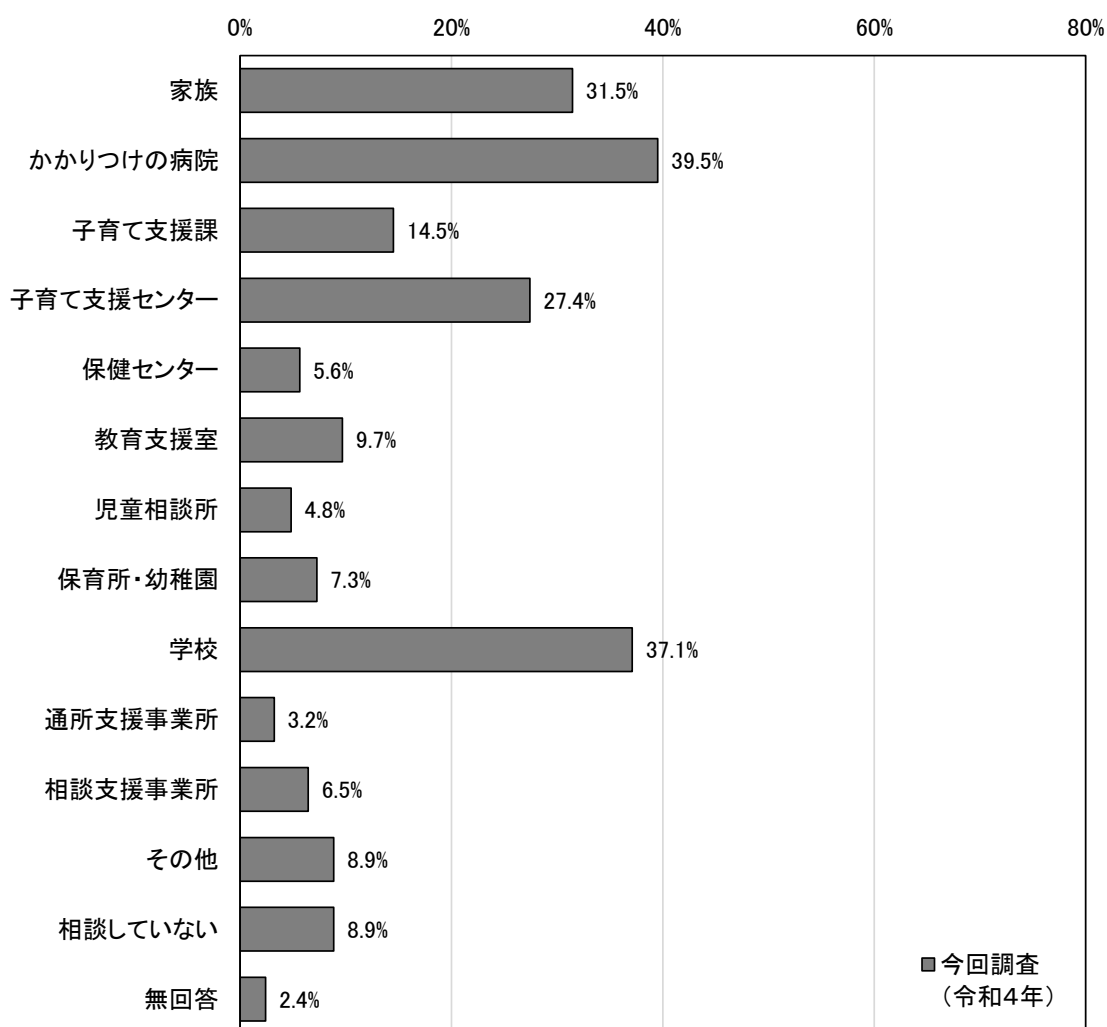


	度数	構成比
児童発達支援	10	8.1%
医療型児童発達支援	4	3.2%
居宅訪問型児童発達支援	1	0.8%
放課後等デイサービス	26	21.0%
保育所等訪問支援	1	0.8%
利用を考えていない	82	66.1%
無回答	7	5.6%
回答者数	124	

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-10 お子さんの発達の遅れや障がいについて、誰に（どこに）相談していますか。
（当てはまるものすべてに）

「かかりつけの病院」が39.5%と最も多く、次いで「学校」が37.1%、「家族」が31.5%となっています。



	度数	構成比
家族	39	31.5%
かかりつけの病院	49	39.5%
子育て支援課	18	14.5%
子育て支援センター	34	27.4%
保健センター	7	5.6%
教育支援室	12	9.7%
児童相談所	6	4.8%
保育所・幼稚園	9	7.3%
学校	46	37.1%
通所支援事業所	4	3.2%
相談支援事業所	8	6.5%
その他	11	8.9%
相談していない	11	8.9%
無回答	3	2.4%
回答者数	124	

【問8-10で「相談していない」と回答した方におたずねします。】

問8-11 相談していない理由をお答えください。

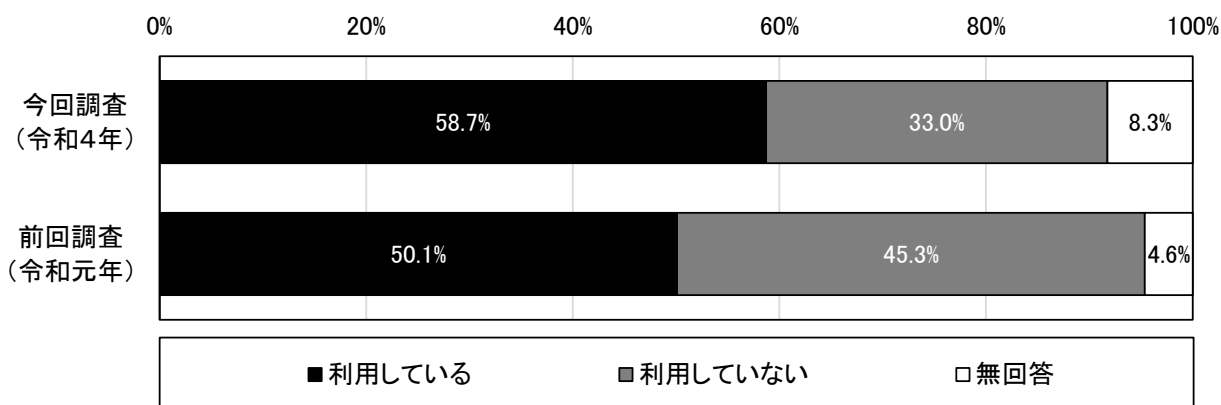
障害児通所支援を利用をしていない方でお子さんの発達の遅れや障害について誰にも相談していない方の理由として、「現在、困っていないこと」「本人が希望していないこと」「身近なところに相談先がないこと」などの意見がみられます。

問9 お子さんは、障害児相談支援を利用していますか。(1つのみ)

「利用している」が58.7%、「利用していない」が33.0%となっています。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「利用している」が8.6ポイント多くなっています。



	利用している	利用していない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	391	220	55	666
	58.7	33.0	8.3	100.0
前回調査(令和元年)	249	225	23	497
	50.1	45.3	4.6	100.0

【障害児通所支援の利用別クロス】

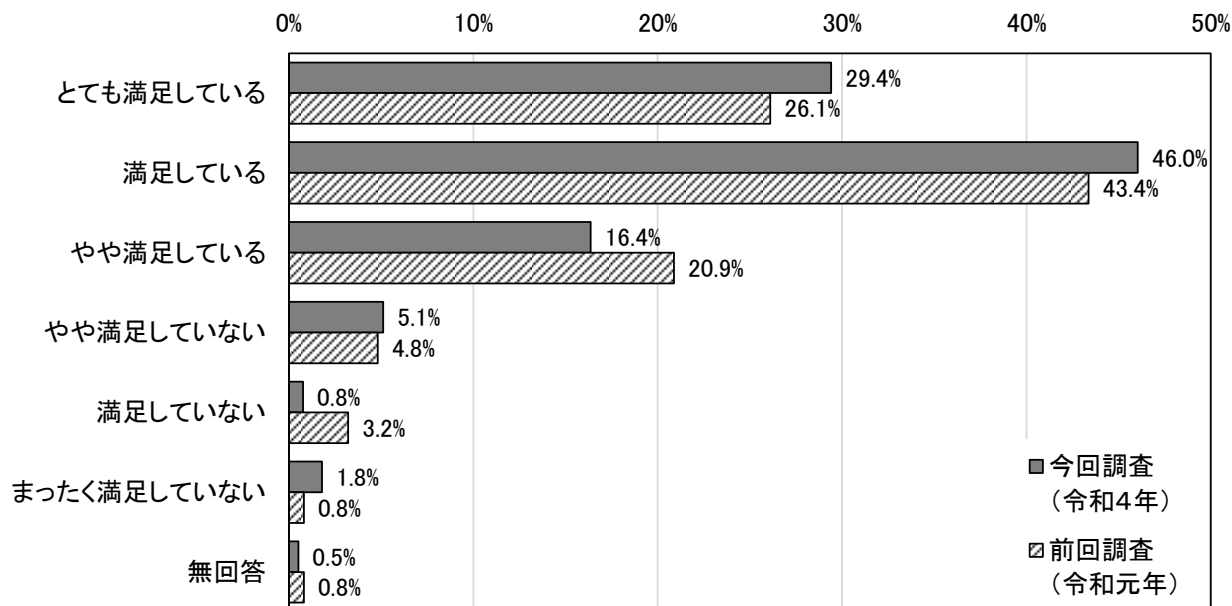
障害児通所支援の利用別でクロスすると、障害児通所支援を利用している方で障害児相談支援を「利用している」方は70.0%となっています。

		利用している	利用していない	無回答	合計
問8 の 利用 別	障害児通所支援 はい	374	114	46	534
		70.0%	21.3%	8.6%	100.0%
	いいえ	16	104	4	124
		12.9%	83.9%	3.2%	100.0%
利用有無無回答		1	2	5	8
		12.5%	25.0%	62.5%	100.0%

【問9で「利用している」と回答した方におたずねします。】

問9-1 作成した支援利用計画の満足度についてもっとも当てはまるものをお答えください。
(1つのみ)

『満足』（とても満足している+満足している+やや満足している）が91.8%となっています。
また、『満足していない』（やや満足していない+満足していない+まったく満足していない）が7.7%
となっています。



	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
とても満足している	115	29.4%	65	26.1%
満足している	180	46.0%	108	43.4%
やや満足している	64	16.4%	52	20.9%
やや満足していない	20	5.1%	12	4.8%
満足していない	3	0.8%	8	3.2%
まったく満足していない	7	1.8%	2	0.8%
無回答	2	0.5%	2	0.8%
合計	391	100.0%	249	100.0%

【問9-1で「とても満足している」「満足している」「やや満足している」と回答した方におたずねします。】

問9-2 満足している理由をお答えください。

障害児相談支援を利用している方の、満足している理由として、「子どもの成長に合わせた計画策定をしてくれる」「相談事の対応が親切」「こまめな情報共有」などの意見がみられます。

子どものスモールステップにつながる計画作成や保護者の不安を取り除く対応が満足度に繋がっている傾向がみられます。

【問9-1で「やや満足していない」「満足していない」「まったく満足していない」と回答した方におたずねします。】

問9-3 満足していない理由をお答えください。

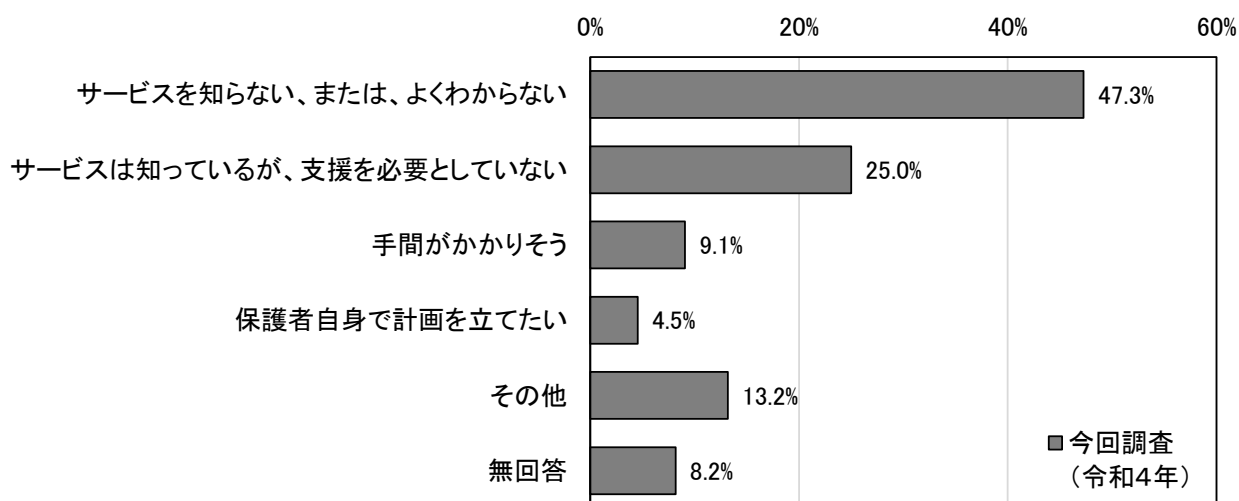
障害児相談支援を利用している方の満足していない理由として、「支援利用計画の作成にあたって聞き取り等が不十分なこと」や「コロナ禍による電話対応のみの不安」などの意見がみられます。

保護者からの聞き取りを反映した計画作成が必要とされています。

【問9で「利用していない」と回答した方におたずねします。】

問9-4 障害児相談支援を利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「サービスを知らない、または、よくわからない」が47.3%と最も多く、次いで「サービスは知っているが、支援を必要としていない」が25.0%、「手間がかかりそう」が9.1%となっています。

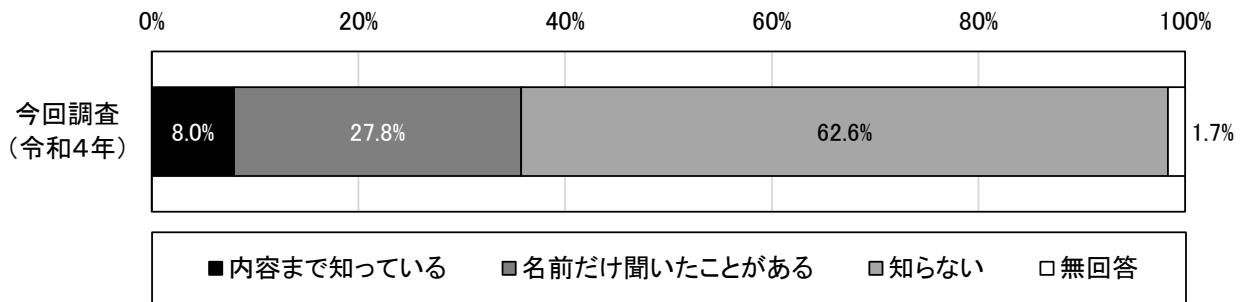


	度数	構成比
サービスを知らない、または、よくわからない	104	47.3%
サービスは知っているが、支援を必要としていない	55	25.0%
手間がかかりそう	20	9.1%
保護者自身で計画を立てたい	10	4.5%
その他	29	13.2%
無回答	18	8.2%
回答者数	220	

4 差別について

問 10 平成 28 年（2016 年）4 月 1 日に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（通称：障害者差別解消法）」について知っていますか。（1 つのみ）

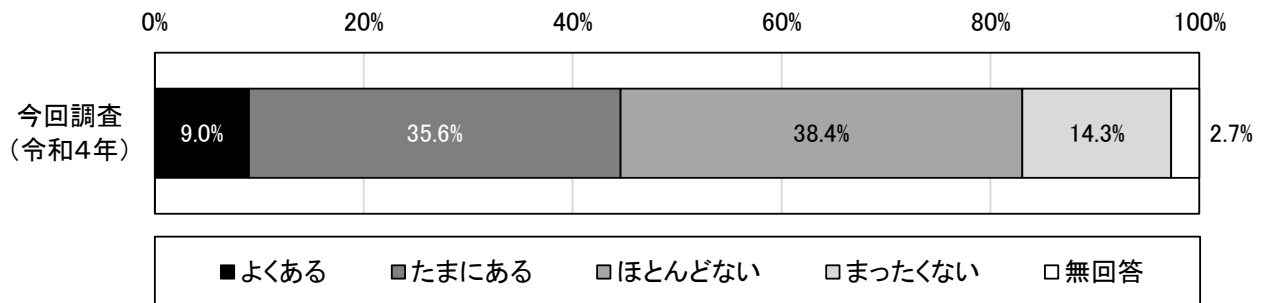
「知らない」が 62.6%と最も多く、次いで「名前だけ聞いたことがある」が 27.8%、「内容まで知っている」が 8.0%となっています。



	内容まで知っている	名前だけ聞いたことがある	知らない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	53	185	417	11	666
	8.0%	27.8%	62.6%	1.7%	100.0%

**問 11 お子さんは、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。
(1つのみ)**

「ほとんどない」が38.4%と最も多く、次いで「たまにある」が35.6%、「まったくない」が14.3%となっています。



	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	60	237	256	95	18	666
	9.0%	35.6%	38.4%	14.3%	2.7%	100.0%

【障害者手帳別クロス】

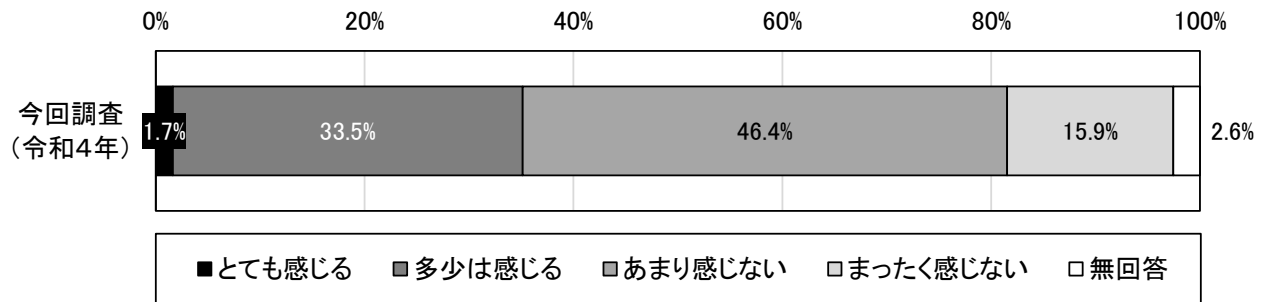
障害者手帳別でクロスすると、「よくある」では、「身体障害者手帳」が15.6%、「療育手帳」が11.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が24.0%となっています。

	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない	無回答	合計
身体障害者手帳	10	28	20	5	1	64
	15.6%	43.8%	31.3%	7.8%	1.6%	100.0%
療育手帳	29	110	93	19	6	257
	11.3%	42.8%	36.2%	7.4%	2.3%	100.0%
精神障害者保健福祉手帳	6	8	9	2	0	25
	24.0%	32.0%	36.0%	8.0%	0.0%	100.0%
(障害者手帳)を持っていない	20	104	146	70	11	351
	5.7%	29.6%	41.6%	19.9%	3.1%	100.0%

5 市民の理解について

問 12 あなたは、地域の方の障がい児に対する理解が深まっていると感じますか。(1つのみ)

「あまり感じない」が46.4%と最も多く、次いで「多少は感じる」が33.5%、「まったく感じない」が15.9%となっています。

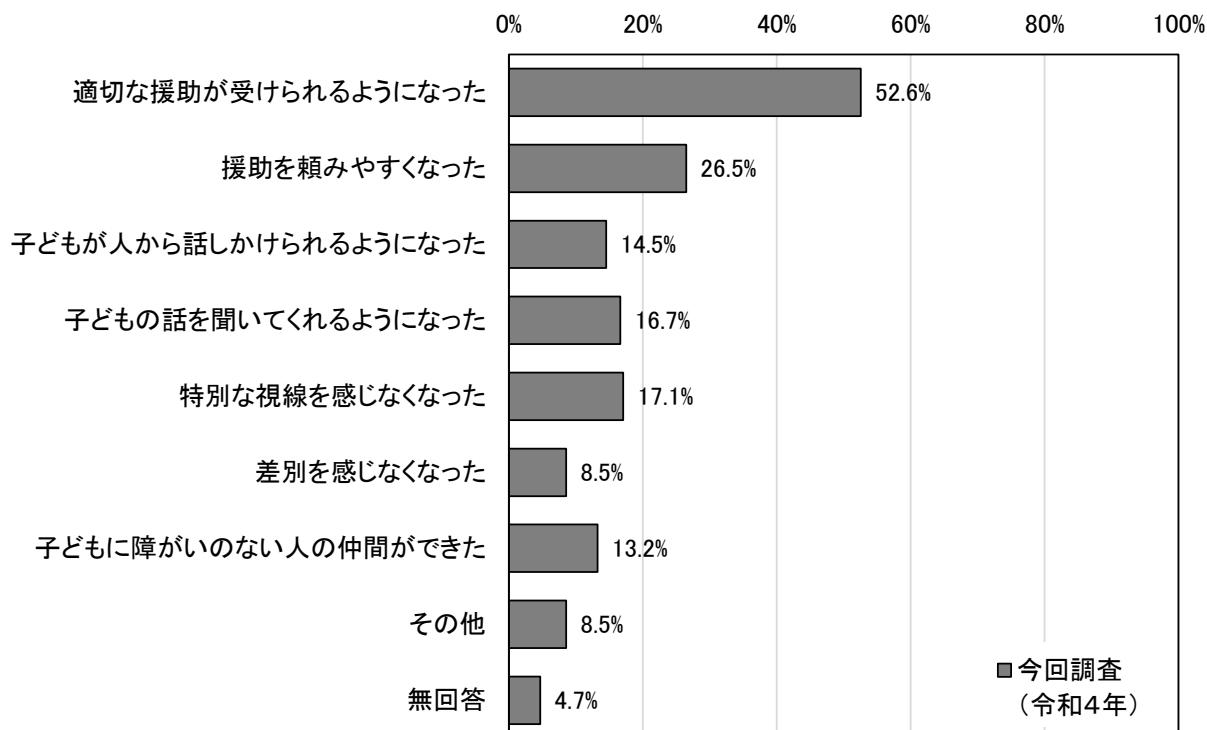


	とても感じる	多少は感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	11	223	309	106	17	666
	1.7%	33.5%	46.4%	15.9%	2.6%	100.0%

【問 12 で「とても感じる」「多少は感じる」と回答した方におたずねします。】

問 12-1 理解が深まっていると感じる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「適切な援助が受けられるようになった」が 52.6%と最も多く、次いで「援助を頼みやすくなった」が 26.5%、「特別な視線を感じなくなった」が 17.1%となっています。

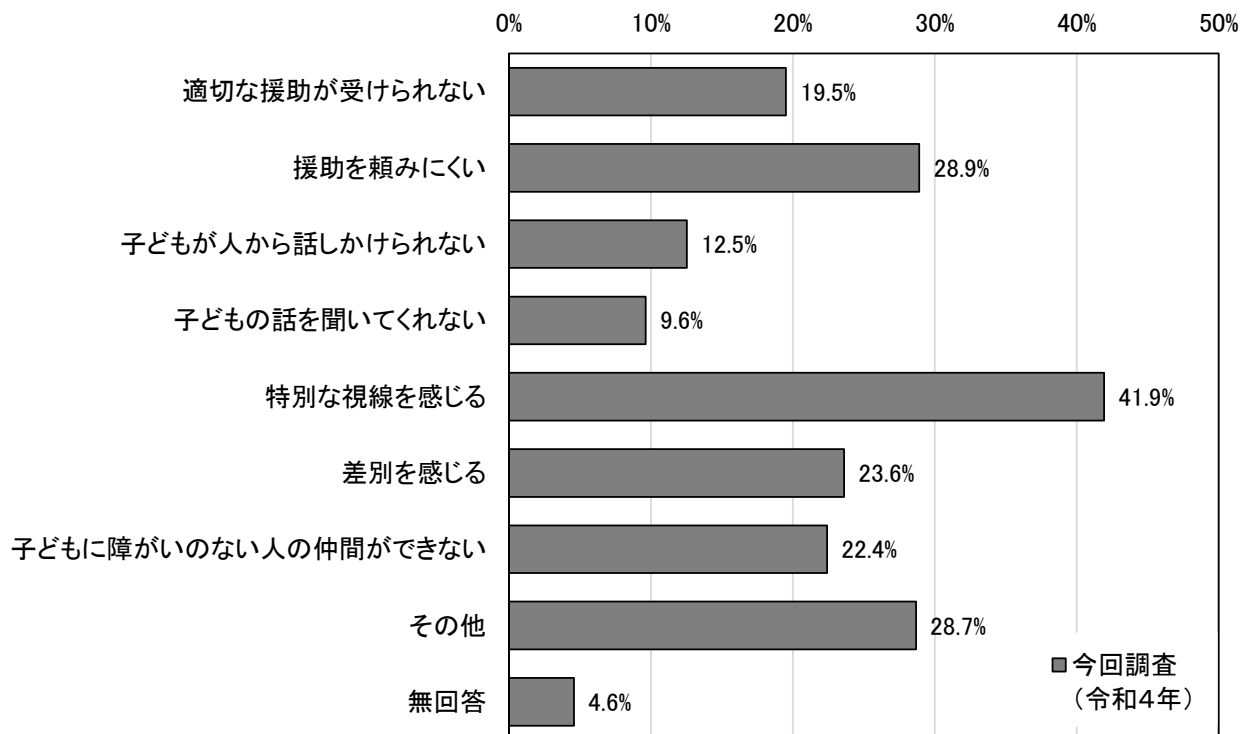


	度数	構成比
適切な援助が受けられるようになった	123	52.6%
援助を頼みやすくなった	62	26.5%
子どもが人から話しかけられるようになった	34	14.5%
子どもの話を聞いてくれるようになった	39	16.7%
特別な視線を感じなくなった	40	17.1%
差別を感じなくなった	20	8.5%
子どもに障がいのない人の仲間ができた	31	13.2%
その他	20	8.5%
無回答	11	4.7%
回答者数	234	

【問 12 で「あまり感じない」「まったく感じない」と回答した方におたずねします。】

問 12-2 理解が深まっていないと感じる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

「特別な視線を感じる」が 41.9%と最も多く、次いで「援助を頼みにくい」が 28.9%、「差別を感じる」が 23.6%となっています。

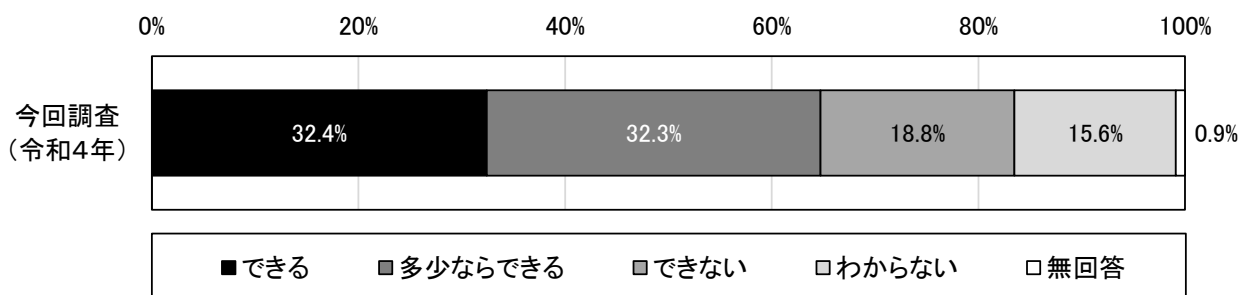


	度数	構成比
適切な援助が受けられない	81	19.5%
援助を頼みにくい	120	28.9%
子どもが人から話しかけられない	52	12.5%
子どもの話を聞いてくれない	40	9.6%
特別な視線を感じる	174	41.9%
差別を感じる	98	23.6%
子どもに障がいのない人の仲間ができない	93	22.4%
その他	119	28.7%
無回答	19	4.6%
回答者数	415	

6 災害時について

問 13 お子さんは、障がいのない人が多数いる避難所で避難生活を送ることができますか。
(1つのみ)

「できる」が 32.4%と最も多く、次いで「多少ならできる」が 32.3%、「できない」が 18.8%となっています。



	できる	多少なら できる	できない	わから ない	無回答	合計
今回調査(令和4年)	216 32.4%	215 32.3%	125 18.8%	104 15.6%	6 0.9%	666 100.0%

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「(避難生活が) できない」では、「12～14 歳 (中学生)」が最も多く、次いで「6～8 歳 (小学校低学年)」となっています。

	できる	多少なら できる	できない	わから ない	無回答	合計
全体	216 32.4%	215 32.3%	125 18.8%	104 15.6%	6 0.9%	666 100.0%
0～2歳 (未就学)	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	9 52.9%	0 0.0%	17 100.0%
3～5歳 (未就学)	62 36.5%	52 30.6%	26 15.3%	29 17.1%	1 0.6%	170 100.0%
6～8歳 (小学校低学年)	54 35.3%	44 28.8%	33 21.6%	21 13.7%	1 0.7%	153 100.0%
9～11歳 (小学校高学年)	45 32.4%	54 38.8%	21 15.1%	17 12.2%	2 1.4%	139 100.0%
12～14歳 (中学生)	30 28.3%	32 30.2%	29 27.4%	15 14.2%	0 0.0%	106 100.0%
15～17歳 (高校生)	19 26.0%	30 41.1%	12 16.4%	11 15.1%	1 1.4%	73 100.0%
無回答	4 50.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	8 100.0%

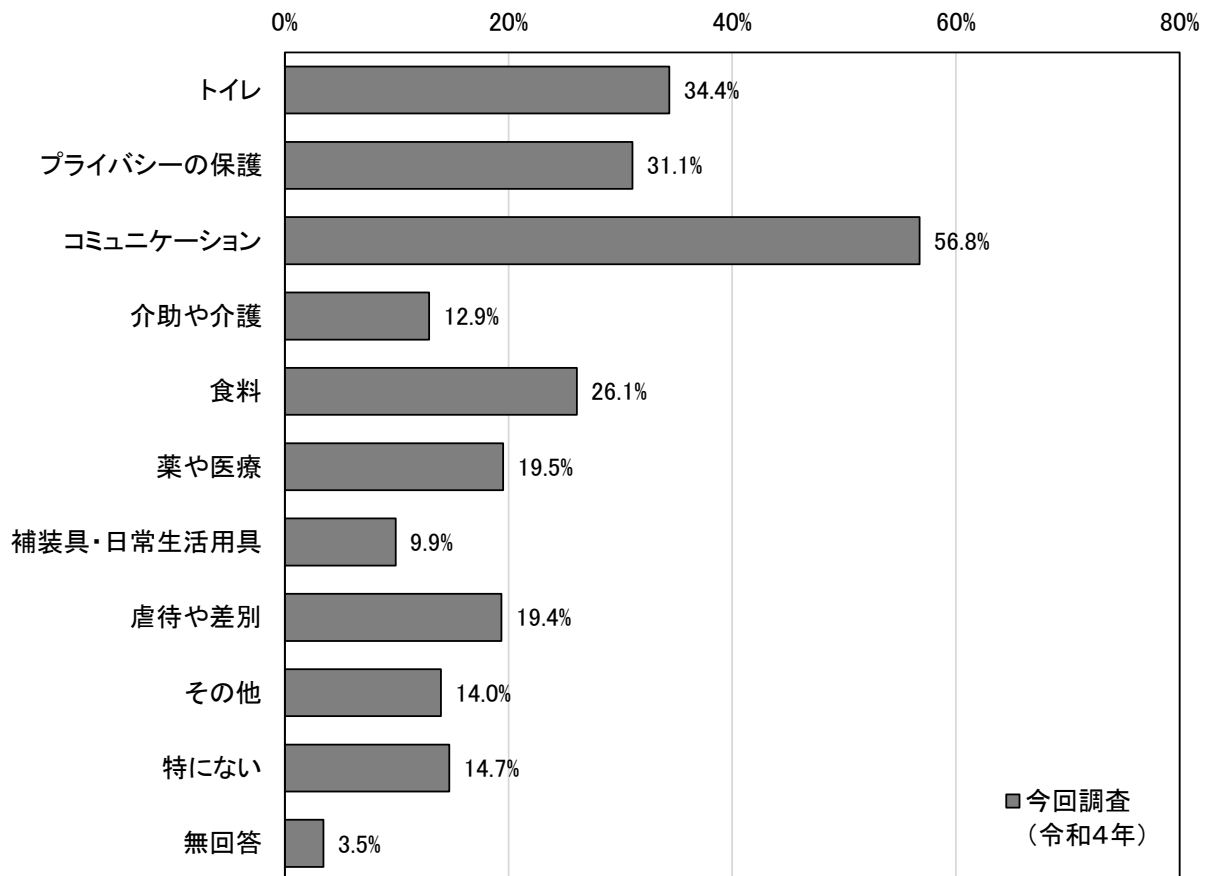
【障害者手帳別クロス】

障害者手帳別でクロスすると、「(避難生活が) できない」では、「身体障害者手帳」が 23.4%、「療育手帳」が 30.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が 28.0%となっています。

	できる	多少ならで きる	できない	わからない	無回答	合計
身体障害者手帳	20 31.3%	17 26.6%	15 23.4%	11 17.2%	1 1.6%	64 100.0%
療育手帳	33 12.8%	94 36.6%	78 30.4%	49 19.1%	3 1.2%	257 100.0%
精神障害者保健福祉手帳	4 16.0%	8 32.0%	7 28.0%	6 24.0%	0 0.0%	25 100.0%
(障害者手帳を)持っていない	151 46.6%	100 30.9%	29 9.0%	42 13.0%	2 0.6%	324 100.0%

問 14 障がいのない人が多数いる避難所での避難生活で、お子さんについて特に不安に思うことはありますか。（当てはまるものすべてに）

「コミュニケーション」が56.8%と最も多く、次いで「トイレ」が34.4%、「プライバシーの保護」が31.1%となっています。



	度数	構成比
トイレ	229	34.4%
プライバシーの保護	207	31.1%
コミュニケーション	378	56.8%
介助や介護	86	12.9%
食料	174	26.1%
薬や医療	130	19.5%
補装具・日常生活用具	66	9.9%
虐待や差別	129	19.4%
その他	93	14.0%
特にない	98	14.7%
無回答	23	3.5%
回答者数	666	

【年齢別クロス】

年齢別でクロスすると、「コミュニケーション」は、全ての年代で上位にあげられています。

	トイレ	プライバシーの保護	コミュニケーション	介助や介護	食料	薬や医療
全体	229 34.4%	207 31.1%	378 56.8%	86 12.9%	174 26.1%	130 19.5%
0～2歳 (未就学)	10 58.8%	6 35.3%	9 52.9%	6 35.3%	8 47.1%	5 29.4%
3～5歳 (未就学)	51 30.0%	35 20.6%	88 51.8%	11 6.5%	45 26.5%	24 14.1%
6～8歳 (小学校低学年)	49 32.0%	47 30.7%	84 54.9%	18 11.8%	34 22.2%	23 15.0%
9～11歳 (小学校高学年)	44 31.7%	46 33.1%	78 56.1%	19 13.7%	31 22.3%	25 18.0%
12～14歳 (中学生)	46 43.4%	42 39.6%	76 71.7%	20 18.9%	33 31.1%	30 28.3%
15～17歳 (高校生)	26 35.6%	29 39.7%	40 54.8%	12 16.4%	20 27.4%	21 28.8%
無回答	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%
	補装具・日常生活用具	虐待や差別	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	66 9.9%	129 19.4%	93 14.0%	98 14.7%	23 3.5%	666
0～2歳 (未就学)	6 35.3%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	17
3～5歳 (未就学)	13 7.6%	28 16.5%	22 12.9%	29 17.1%	6 3.5%	170
6～8歳 (小学校低学年)	13 8.5%	26 17.0%	30 19.6%	26 17.0%	4 2.6%	153
9～11歳 (小学校高学年)	12 8.6%	29 20.9%	15 10.8%	22 15.8%	5 3.6%	139
12～14歳 (中学生)	15 14.2%	23 21.7%	13 12.3%	10 9.4%	3 2.8%	106
15～17歳 (高校生)	7 9.6%	18 24.7%	8 11.0%	9 12.3%	4 5.5%	73
無回答	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	8

【地区別クロス】

地区別でクロスすると、「コミュニケーション」では、「青柳・青柳町・柿木町」が最も多く、次いで「新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町」となっています。

	トイレ	プライバシーの保護	コミュニケーション	介助や介護	食料	薬や医療
全体	229 34.4%	207 31.1%	378 56.8%	86 12.9%	174 26.1%	130 19.5%
新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町	43 36.8%	50 42.7%	77 65.8%	15 12.8%	32 27.4%	22 18.8%
八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町	20 23.8%	26 31.0%	53 63.1%	7 8.3%	20 23.8%	13 15.5%
青柳・青柳町・柿木町	20 48.8%	13 31.7%	27 65.9%	5 12.2%	14 34.1%	10 24.4%
原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原	35 31.3%	25 22.3%	55 49.1%	12 10.7%	24 21.4%	21 18.8%
草加・西町・氷川町	24 31.2%	25 32.5%	46 59.7%	12 15.6%	23 29.9%	16 20.8%
神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町	24 35.3%	17 25.0%	35 51.5%	12 17.6%	15 22.1%	13 19.1%
稲荷・松江5～6丁目	10 58.8%	5 29.4%	10 58.8%	3 17.6%	7 41.2%	5 29.4%
柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町	28 36.8%	27 35.5%	36 47.4%	12 15.8%	20 26.3%	18 23.7%
谷塚町・谷塚	10 27.0%	5 13.5%	18 48.6%	3 8.1%	8 21.6%	6 16.2%
瀬崎	14 42.4%	13 39.4%	20 60.6%	5 15.2%	10 30.3%	6 18.2%
無回答	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
	補装具・日常生活用具	虐待や差別	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	66 9.9%	129 19.4%	93 14.0%	98 14.7%	23 3.5%	666
新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町	15 12.8%	20 17.1%	11 9.4%	10 8.5%	3 2.6%	117
八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町	6 7.1%	14 16.7%	15 17.9%	12 14.3%	3 3.6%	84
青柳・青柳町・柿木町	6 14.6%	11 26.8%	4 9.8%	6 14.6%	0 0.0%	41
原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原	7 6.3%	17 15.2%	16 14.3%	22 19.6%	7 6.3%	112
草加・西町・氷川町	10 13.0%	17 22.1%	11 14.3%	8 10.4%	2 2.6%	77
神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町	5 7.4%	21 30.9%	11 16.2%	11 16.2%	1 1.5%	68
稲荷・松江5～6丁目	5 29.4%	5 29.4%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	17
柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町	7 9.2%	10 13.2%	13 17.1%	15 19.7%	2 2.6%	76
谷塚町・谷塚	2 5.4%	6 16.2%	3 8.1%	6 16.2%	4 10.8%	37
瀬崎	3 9.1%	7 21.2%	6 18.2%	6 18.2%	0 0.0%	33
無回答	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	4

【障害者手帳別クロス】

障害者手帳別でクロスすると、「身体障害者手帳」では「薬や医療」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」では「コミュニケーション」が最も多くなっています。

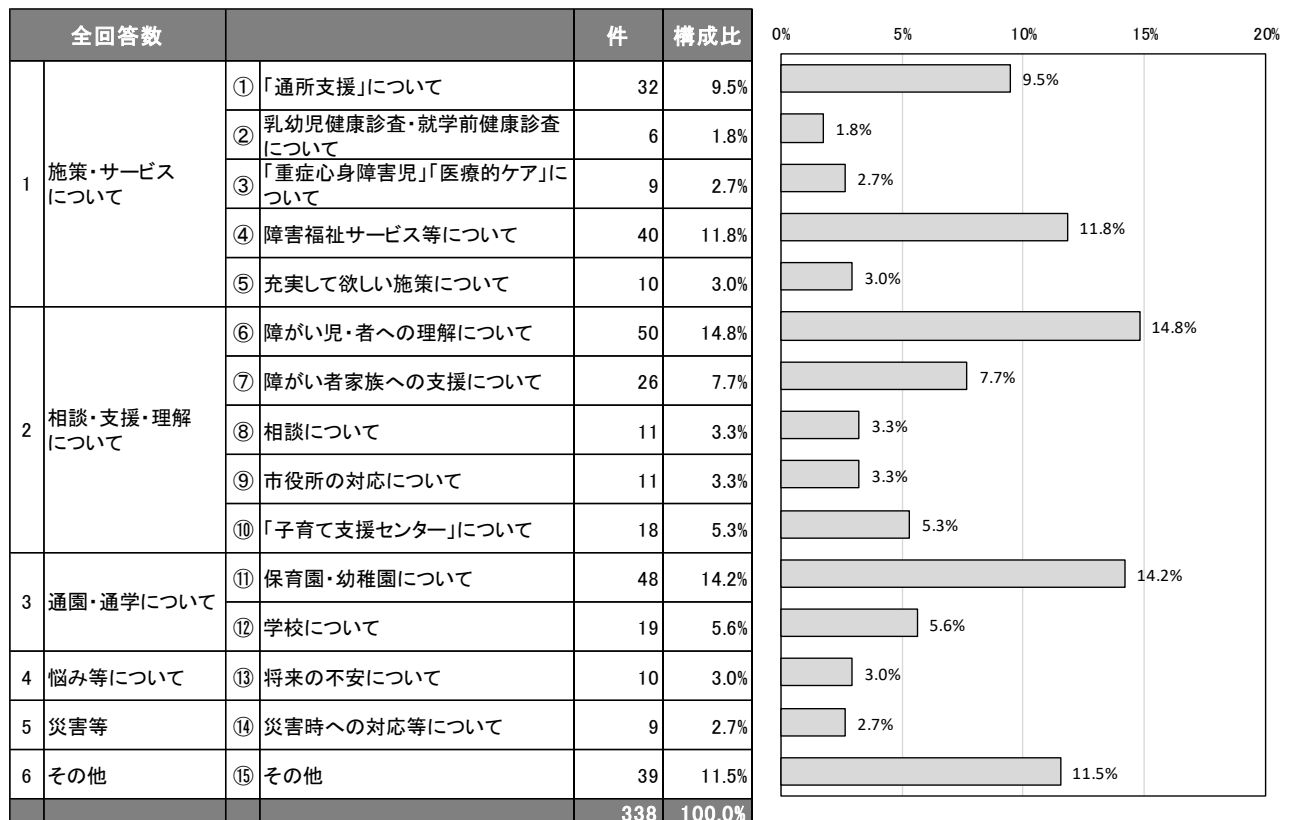
	トイレ	プライバシーの保護	コミュニケーション	介助や介護	食料	薬や医療
全体	229 34.4%	207 31.1%	378 56.8%	86 12.9%	174 26.1%	130 19.5%
身体障害者手帳	33 53.2%	25 40.3%	21 33.9%	20 32.3%	24 38.7%	35 56.5%
療育手帳	123 50.0%	98 39.8%	175 71.1%	62 25.2%	91 37.0%	74 30.1%
精神障害者保健福祉手帳	9 36.0%	12 48.0%	19 76.0%	2 8.0%	9 36.0%	8 32.0%
(障害者手帳を)持っていない	71 21.9%	76 23.5%	157 48.5%	9 2.8%	62 19.1%	30 9.3%
	補装具・日常生活用具	虐待や差別	その他	特にない	無回答	回答者数
全体	66 9.9%	129 19.4%	93 14.0%	98 14.7%	23 3.5%	666
身体障害者手帳	25 40.3%	14 22.6%	9 14.5%	6 9.7%	1 1.6%	62
療育手帳	32 13.0%	79 32.1%	44 17.9%	13 5.3%	10 4.1%	246
精神障害者保健福祉手帳	4 16.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	25
(障害者手帳を)持っていない	10 3.1%	28 8.6%	37 11.4%	74 22.8%	11 3.4%	324

※各設問において、障害の種別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。

問 15 草加市の障がい児施策についてのご意見、お考え等がありましたら、自由に記載してください。

アンケート調査の最後に、自由記述欄を設け、貴重なご意見をいただきました。
結果報告書では、15項目に分類した上で、ご意見を掲載しております。

【全体】



障がい児施策についてのご意見やお考え等について、

- 「施策・サービスについて」では、「障害福祉サービス等について」に関する記載が最も多くなっています。内容として、「専門性のある施設を増やしてほしいこと」「支援センターや児童相談所、市役所、学校、デイサービスなどがしっかりと連携をとって情報共有してほしいこと」などの意見が多い結果となっています。
- 「相談・支援・理解について」では、「障がい児・者への理解」に関する記載が最も多くなっています。内容として、「地域の人の理解が乏しく、日常生活を送ることが難しいこと」「目に見えない障害をもつお子さんの障害の特性を理解してほしいこと」「障がい児という表現を変えてほしい」などの意見が多い結果となっています。
- 「通園・通学について」では、「保育園・幼稚園」に関する記載が多くなっています。内容として、「将来、普通学級に入って支援を受けたいこと」「担任の先生による対応」「進学による悩み」などの意見が多い結果となっています。
- 「悩み等について」では、「相談時に納得のいく答えがもらえなかったこと」「支援を受けられる頻度が少ないこと」などの意見が多い結果となっています。
- 「災害等について」では、「一般の人が使う避難所は使えないこと」「呼吸器や人工内耳などの充電・電気系統の不安」などの意見が多い結果となっています。
- 「その他」では、「アンケートへの意見」などの意見が多い結果となっています。

② 障害児通所支援事業所アンケート

問1 貴事業所の運営母体の種別をお答えください。(1つのみ)

「特定非営利活動法人（NPO法人）」が60件中16件、「株式会社、有限会社、合同会社」が30件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
社会福祉法人	2	3.3%	0	0.0%
医療法人	0	0.0%	0	0.0%
一般社団法人・一般財団法人	5	8.3%	0	0.0%
特定非営利活動法人(NPO法人)	16	26.7%	13	38.2%
株式会社、有限会社、合同会社	30	50.0%	20	58.8%
その他	5	8.3%	1	2.9%
無回答	2	3.3%	0	0.0%
合計	60	100.0%	34	100.0%

その他

■ 草加市

問2 貴事業所の所在地を教えてください。(1つのみ)

「原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原」が60件中9件と最も多く、次いで「草加・西町・氷川町」「稲荷・松江5～6丁目」が8件、「柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町」が7件となっています。

	度数	構成比
新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町	6	10.0%
八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町	3	5.0%
青柳・青柳町・柿木町	5	8.3%
原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原	9	15.0%
草加・西町・氷川町	8	13.3%
神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町	6	10.0%
稲荷・松江5～6丁目	8	13.3%
柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・谷塚上町・谷塚仲町	7	11.7%
谷塚町・谷塚	4	6.7%
瀬崎	2	3.3%
無回答	2	3.3%
合計	60	100.0%

問3 貴事業所の当該サービスにかかわる職員体制についてご記入ください。

(令和4年11月1日現在)

「常勤職員人数」は、「4人～6人」が60件中29件、「非常勤・その他人数」は「1人～3人」が14件、「合計人数」は「10人以上」が20件となっています。

	常勤職員人数		非常勤・その他人数		合計人数	
	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比
0人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1人～3人	21	35.0%	14	23.3%	9	15.0%
4人～6人	29	48.3%	13	21.7%	13	21.7%
7人～9人	4	6.7%	7	11.7%	18	30.0%
10人以上	6	10.0%	10	16.7%	20	33.3%
無回答	0	0.0%	16	26.7%	7	11.7%
合計	60	100.0%	60	100.0%	60	100.0%

	件数: 「事業所数」	総数: 「職員数」	平均	最小	最大
医師	3	2	1.00	1	1
看護師	6	9	2.00	1	3
保育士	42	189	3.00	1	21
児童指導員	50	190	3.00	1	11
栄養士	5	3	1.00	1	1
介護福祉士	14	21	1.00	1	8
理学療法士	2	1	1.00	1	1
作業療法士	5	4	1.00	1	1
言語聴覚士	5	6	1.50	1	2
社会福祉士	9	19	1.00	1	11
心理士	15	25	1.00	1	11
介護職員初任者	13	16	1.00	1	2
精神保健福祉士	2	1	1.00	1	1
調理師	5	4	1.00	1	1
柔道整復師	1	0	0.00	0	0
その他	30	61	2.00	1	8

その他職員

- 児童指導員 (8件)
- 相談支援専門員 (4件)
- サービス管理責任者 (2件)
- 指導員運転手 (2件)
- 調理支援員、保育支援員
- 福祉サービス経験者
- 音楽療法士
- 児童発達支援管理責任者兼管理者 (教室長)
- 強度行動障害支援者
- 無資格

**問4 貴事業所が利用対象としている障がい種別等をお答えください。
(当てはまるものすべてに)**

「知的障がい」が60件中57件と最も多く、次いで「発達の遅れ」が54件、「精神障がい」が23件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
身体障がい	17	28.3%	8	23.5%
知的障がい	57	95.0%	34	100.0%
精神障がい	23	38.3%	13	38.2%
発達の遅れ	54	90.0%		
重症心身障がい児	13	21.7%		
医療的ケア児	11	18.3%		
無回答	1	1.7%		
回答者数	60		34	

問5 貴事業所の開設日(曜日)をお答えください。(当てはまるものすべてに)

「水曜日」は60件中58件、「月曜日」「火曜日」「木曜日」「金曜日」がともに57件、「土曜日」は33件、「祝日」は22件、「日曜日」は8件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
月曜日	57	95.0%	31	91.2%
火曜日	57	95.0%	33	97.1%
水曜日	58	96.7%	34	100.0%
木曜日	57	95.0%	34	100.0%
金曜日	57	95.0%	34	100.0%
土曜日	33	55.0%	26	76.5%
日曜日	8	13.3%	8	23.5%
祝日	22	36.7%	0	0.0%
無回答	1	1.7%	0	0.0%
回答者数	60		34	

問6 貴事業所が提供しているサービスと定員及び1か月の利用者数を教えてください。

「放課後等デイサービス」は60件中31件、「児童発達支援」は22件、「障害児相談支援」は8件となっています。

	利用者数			
	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
児童発達支援	22	36.7%	19	55.9%
放課後等デイサービス	31	51.7%	25	73.5%
保育所等訪問支援	1	1.7%	0	0.0%
障害児相談支援	8	13.3%	0	0.0%
無回答	1	1.7%	2	5.9%
回答者数	60		34	

定員数は「児童発達支援」が総数323人(平均13.5人)、「放課後等デイサービス」が総数343人(平均9.8人)となっています。

利用者数は「児童発達支援」が総数503人(平均22.9人)、「放課後等デイサービス」が総数674人(平均21.7人)、「保育所等訪問支援」が総数12人(平均12.0人)「障害児相談支援」が総数203人(平均25.4人)となっています。

	定員数(人)			利用者数(人)			内)草加市(人)		
	件数: 「事業所数」	総数: 「利用者数」	平均	件数: 「事業所数」	総数: 「利用者数」	平均	件数: 「事業所数」	総数: 「利用者数」	平均
児童発達支援	24	323	13.5	22	503	22.9	22	307	14.0
放課後等デイサービス	35	343	9.8	31	674	21.7	31	524	16.9
保育所等訪問支援				1	12	12.0	1	12	12.0
障害児相談支援				8	203	25.4	8	167	20.9

※定員数：各事業所で提供しているサービスの定員数

利用者数：各事業所で提供しているサービスの利用者数

内)草加市：各事業所で提供しているサービスの草加市民の利用者数

【問6で「児童発達支援」「放課後等デイサービス」を提供していると回答した事業所におたずねします。】

問6-1 貴事業所が提供している療育の特徴や方針を教えてください。

貴事業所が提供している療育の方針や特徴について、「個別療育や集団療育などの独自のプログラムの展開」「子どもの成長と課題を共有できる取組」「就学等の将来を見据えた個々の課題への対応」という意見などがあり、各事業所ごとに独自の取組が行われている傾向がみられます。

問7 現在、サービスを提供するうえで課題はありますか。(上位5つまで)

「人材の確保・育成」が60件中46件と最も多く、次いで「有資格者の確保」が35件、「サービスに見合う収益の確保」が20件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
人材の確保・育成	46	76.7%	27	79.4%
サービスに見合う収益の確保	20	33.3%	16	47.1%
有資格者の確保	35	58.3%	21	61.8%
施設や設備等の整備資金の確保	15	25.0%	14	41.2%
施設や設備等の整備費用の回収	10	16.7%	7	20.6%
事務の効率化	16	26.7%	14	41.2%
他の事業所との競合	3	5.0%	10	29.4%
制度改正への対応	9	15.0%	8	23.5%
事故・犯罪・訴訟・不正・虐待等へのリスクマネジメント	8	13.3%	8	23.5%
利用者の確保	17	28.3%	0	0.0%
保護者への対応	12	20.0%	0	0.0%
保育所・幼稚園・学校との連携	16	26.7%	0	0.0%
送迎が広範囲にわたる	12	20.0%	0	0.0%
その他	3	5.0%	1	2.9%
特にない	4	6.7%	1	2.9%
無回答	2	3.3%	0	0.0%
回答者数	60		34	

その他

- 相談事が多すぎて、毎日 TEL 対応。幼稚園や保育園との連携。要保護家庭：この先の連絡など。児発管（児童発達支援管理責任者）：一人ではなかなか対応しきれないところが多い。
- 学童と勘違いしている方からの問合せが多い。
- 学校との情報共有や連携を深めることが必要なのになかなかできない。

問8 草加市に事業所を開所した理由を教えてください。

草加市に事業所を開所した理由について、「地域的なニーズがあったこと」「ボランティア等から発展したこと」「支援学校が近くにあり環境が良いこと」「生まれ育った地域に貢献したいこと」という意見などがあり、草加市の地域性に沿った開所理由がみられる傾向となっています。

問9 各サービスについて、貴事業所の今後の展望をお答えください。

(1) 拡大や新規参入を考えているサービス

「障害児相談支援」が 60 件中 8 件と最も多く、次いで「児童発達支援」が 7 件、「保育所等訪問支援」が 6 件となっています。

(2) 縮小や撤退を考えているサービス

「児童発達支援（医療的ケア児）」「放課後等デイサービス（医療的ケア児）」がともに 60 件中 1 件となっています。

	拡大や新規参入		縮小や撤退	
	度数	構成比	度数	構成比
児童発達支援	7	11.7%	0	0.0%
児童発達支援(重症心身障がい児)	1	1.7%	0	0.0%
児童発達支援(医療的ケア児)	1	1.7%	1	1.7%
居宅訪問型児童発達支援	1	1.7%	0	0.0%
医療型児童発達支援	0	0.0%	0	0.0%
放課後等デイサービス	4	6.7%	0	0.0%
放課後等デイサービス(重症心身障がい児)	0	0.0%	0	0.0%
放課後等デイサービス(医療的ケア児)	1	1.7%	1	1.7%
保育所等訪問支援	6	10.0%	0	0.0%
障害児相談支援	8	13.3%	0	0.0%
無回答	43	71.7%	59	98.3%
回答者数	60		60	

問 10 貴事業所では、重症心身障がい児が利用できる体制となっていますか。（1つのみ）

「利用できる」が 60 件中 20 件、「利用できない」が 40 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
利用できる	20	33.3%	1	2.9%
利用できない	40	66.7%	33	97.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	60	100.0%	34	100.0%

【提供サービス別クロス】

提供サービス別でクロスすると、「利用できる」は「放課後デイサービス」が 10 件と最も多く、次いで「児童発達支援」「障害児相談支援」がともに 6 件と続いています。

	利用できる	利用できない	無回答	合計
全体	20 33.3%	40 66.7%	0 0.0%	60 100.0%
児童発達支援	6 25.0%	18 75.0%	0 0.0%	24 100.0%
放課後等デイサービス	10 28.6%	25 71.4%	0 0.0%	35 100.0%
保育所等訪問支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
障害児相談支援	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	6 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

※提供サービス別クロスにおいて、1つの事業所が複数のサービスを提供している場合があるため、全体の示す数値と一致しない。

【問 10 で「利用できる」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-1 現在、重症心身障がい児の利用はありますか。ある場合、何人いますか。

「現在、利用がある」が 20 件中 12 件、「現在、利用はない」が 3 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
現在、利用がある	12	60.0%	0	0.0%
現在、利用はない	3	15.0%	1	100.0%
無回答	5	25.0%	0	0.0%
合計	20	100.0%	1	100.0%

現在、利用がある (人数)

「1人～3人」が 60 件中 10 件、「4人～6人」「7人～9人」が 1 件となっています。

	度数	構成比
0人	0	0.0%
1人～3人	10	83.3%
4人～6人	1	8.3%
7人～9人	1	8.3%
10人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	12	100.0%

【提供サービス別クロス】

提供サービス別でクロスすると、「現在、利用がある」は「障害児相談支援」が 62.5% (8 件中 5 件) と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が 17.1% (35 件中 6 件)、「児童発達支援」が 8.3% (24 件中 2 件) と続いています。

	現在、利用 がある	現在、利用 はない	無回答	合計
全体	12 60.0%	3 15.0%	5 25.0%	20 100.0%
児童発達支援	2 8.3%	1 4.2%	21 87.5%	24 100.0%
放課後等デイサービス	6 17.1%	1 2.9%	28 80.0%	35 100.0%
保育所等訪問支援	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
障害児相談支援	5 62.5%	1 12.5%	2 25.0%	8 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

※提供サービス別クロスにおいて、1つの事業所が複数のサービスを提供している場合があるため、全体の示す数値と一致しない。

【問 10 で「利用できない」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-2 今後、利用を開始する予定はありますか。ある場合、いつ頃を予定していますか。

「予定がある」が 40 件中 1 件、「予定はない」が 34 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
予定がある	1	2.5%	0	0.0%
予定はない	34	85.0%	33	100.0%
無回答	5	12.5%	0	0.0%
合計	40	100.0%	33	100.0%

予定がある (開始予定月)

※回答はありませんでした。

【問 10-2 で「予定はない」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-3 今後、予定を立てるにあたり、必要なことを教えてください。

重症心身障がい児が利用できる体制について、今後の利用体制を整える予定はない事業所に必要なことは、「人材育成」「人員配置」「設備基準」「運営基準の理解と整備」「資金の援助」「事業所スペースの確保」という意見などがあり、重症心身障がい児の利用体制について、人員面や施設面、費用面等事業所によってさまざまな課題がみられる傾向となっています。

**問 11 貴事業所では、医療的ケアが必要な子どもが利用できる体制となっていますか。
(1つのみ)**

「利用できる」が 60 件中 15 件、「利用できない」が 45 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
利用できる	15	25.0%	1	2.9%
利用できない	45	75.0%	32	94.1%
無回答	0	0.0%	1	2.9%
合計	60	100.0%	34	100.0%

【提供サービス別クロス】

提供サービス別でクロスすると、「利用できる」は「保育所等訪問支援」が 100.0%（1 件中 1 件）と最も多く、次いで「障害児相談支援」が 75.0%（8 件中 6 件）、「児童発達支援」が 25.0%（24 件中 6 件）と続いています

	利用できる	利用できない	無回答	合計
全体	15 25.0%	45 75.0%	0 0.0%	60 100.0%
児童発達支援	6 25.0%	18 75.0%	0 0.0%	24 100.0%
放課後等デイサービス	4 11.4%	31 88.6%	0 0.0%	35 100.0%
保育所等訪問支援	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
障害児相談支援	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

※提供サービス別クロスにおいて、1つの事業所が複数のサービスを提供している場合があるため、全体の示す数値と一致しない。

【問 11 で「利用できる」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-1 現在、医療的ケア児の利用はありますか。ある場合、何人いますか。

「現在、利用がある」が 15 件中 11 件、「現在、利用はない」が 4 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
現在、利用がある	11	73.3%	0	0.0%
現在、利用はない	4	26.7%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	1	100.0%

現在、利用がある (人数)

「1人～3人」が 11 件中 8 件、「4人～6人」が 2 件、「7人～9人」が 1 件となっています。

	度数	構成比
0人	0	0.0%
1人～3人	8	72.7%
4人～6人	2	18.2%
7人～9人	1	9.1%
10人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	11	100.0%

【提供サービス別クロス】

提供サービス別でクロスすると、「現在、利用がある」は「障害児相談支援」が 75.0% (8 件中 6 件) と最も多く、次いで「児童発達支援」が 16.7% (24 件中 4 件)、「放課後等デイサービス」が 8.6% (35 件中 3 件) と続いています

	現在、利用 がある	現在、利用 はない	無回答	合計
全体	11 73.3%	4 26.7%	0 0.0%	15 100.0%
児童発達支援	4 16.7%	2 8.3%	18 75.0%	24 100.0%
放課後等デイサービス	3 8.6%	1 2.9%	31 88.6%	35 100.0%
保育所等訪問支援	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
障害児相談支援	6 75.0%	0 0.0%	2 25.0%	8 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

※提供サービス別クロスにおいて、1つの事業所が複数のサービスを提供している場合があるため、全体の示す数値と一致しない。

【問 11 で「利用できない」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-2 今後、利用を開始する予定はありますか。ある場合、いつ頃を予定していますか。

「予定はない」が 45 件中 40 件となっています。

	今回調査 (令和4年)		前回調査 (令和元年)	
	度数	構成比	度数	構成比
予定がある	0	0.0%	0	0.0%
予定はない	40	88.9%	32	100.0%
無回答	5	11.1%	0	0.0%
合計	45	100.0%	32	100.0%

【問 11-2 で「予定はない」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-3 今後、予定を立てるにあたり、必要なことを教えてください。

医療的ケアが必要な子どもが利用できる体制について、今後の利用体制を整えるために必要なことは、「施設や設備の確保」が最も多く挙げられおり、次いで「専門的な人材確保」、「補助関係」と続いています。

問 12 サービスの拡大や新規参入のために必要なことを、自由に記載してください。

サービスの拡大や新規参入のために必要なことは、「人材の確保・育成」が最も多く挙げられおり、次いで「地域のニーズへの対応」、「利用者の確保」と続いています。

問 13 より質の高い支援を行っていくために必要なことを、自由に記載してください。

より質の高い支援を行っていくために必要なことは、「人材の育成・研修の充実」が最も多く挙げられおり、次いで「補助金・資金面」、「事業所の人材確保」と続いています。

IV 資料編(各種調査票)

(1)障がい児福祉に関するアンケート調査

① 保護者アンケート

【障がい福祉サービスの一覧】

サービスの種類	内容
児童発達支援	未就学の発達に課題がある児童に対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練その他の必要な支援を行います。
医療型児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練又は医療的管理下で支援が必要であると認められた児童に対する児童発達支援及び治療を行います。
居宅訪問型児童発達支援	重症心身障がい児等の重度の障がい児で、障害児通所支援を利用するために外出することが著しく困難な児童に対し、居宅を訪問して発達支援を行います。
放課後等デイサービス	就学している児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供します。
保育所等訪問支援	保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等を利用する児童に対して、訪問により、保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を提供し、保育所等の安定した利用を促進します。
障害児相談支援	障害児通所支援の利用を希望したサービス等利用計画又は障害児支援利用計画を作成します。また、一定期間ごとにサービスの利用状況の確認を行い、計画の見直しを行います。

障害児通所支援事業・障害児相談支援事業の利用等に関するアンケート調査 【ご協力をお願いします】

日頃から、市政に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 草加市では、通所支援事業（児童発達支援や放課後等デイサービス等）や相談支援事業について、提供体制の確保や事業の円滑な実施を図るため、児童福祉法に基づき、「第2期草加市障がい児福祉計画」を策定し、計画的な見直しを行っています。
 第2期の計画に引き続き、令和5年度には、第3期の計画を策定する必要がありますが、その一環として、計画づくりの基礎資料とするため、お子さんと家族の方の生活の状況やご意見、お考えを伺うアンケート調査を実施します。

お手数をかけたいと思いますが、ご協力をお願いいたします。

令和4年（2022年）12月

草加市長 山川 百合子

- 回答に当たってご読みください**
- ◆お子さんの保護者が回答してください。保護者が回答できない場合は、ご家族や介助者等が保護者と相談して回答してください。
 - ◆回答は、主に、当てはまる項目を選んで該当する答えに「」（し点）をつけてください。その他、設問のとおり、直接記入が必要な箇所もあります。答えたくない設問は、未記入で構いません。
 - ◆調査は無記名で実施し、皆さまからの回答は統計的に処理します。個人が特定されることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。
 - ◆回答が済んだ調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月31日（土）まで**に、ポストに投函してください（切手は不要です。差出人の住所・氏名の記入も不要です）。
 - ◆本調査は、児童一人につき一調査票のため、ごきょうだいのいらっしゃる家庭には、ごきょうだいの分の調査票及び返信用封筒を同封しております。ごきょうだいのことにお答えいただけるよう、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

草加市 子ども未来部 子育て支援課 子ども相談係
 電話（直通） 048-922-1483 FAX 048-922-3274
 （日本語の読み、書きに不安のある方は、この問い合わせ先に相談してください。）

【寧加市障害児通所支援事業所一覧】

№	事業所名	サ・イ・ド・の種	種別
		放課後等 デイサービス 児童支援 ○	障害児 療育等 相談支援 ○
1	16加山児童発達支援センターあまねび学園	○	
2	6いぬふくホームドッグリサーチセンター	○	
3	2長野児童発達支援センターあまねび		
4	3特許学習指導員活動拠点にもとまクラブ		
5	4特別用子写で支援センター	○	
6	6C-キッズ	○	
7	6児童発達センターピストリス	○	
8	7ひまわり	○	
9	8こども園	○	
10	8ほのぼのクラブ	○	
11	10Yドレ	○	
12	11あまねびのつりかごインボ	○	
13	12児童発達センターピストリス プラズマ	○	
14	13ハルモニア	○	
15	14こどもがさこ〜ト教養「さくら」印刷	○	
16	15こぼれはらうすくら〜 発達障害支援	○	
17	16児童発達センターピストリスあまねび	○	
18	17ルスタフレックス	○	
19	18こどもがさこ〜ト教養「さくら」印刷	○	
20	19あまねびインボ印刷センター	○	
21	20放課後等デイサービスSAILING	○	
22	21はなみずき学園	○	
23	22フレア	○	
24	23あまねびのつりかご	○	
25	24児童発達センターピストリスあまねび	○	
26	25放課後等デイサービスあまねび	○	
27	26放課後等デイサービスあまねび	○	
28	27あまねび学園あまねび	○	
29	28放課後等デイサービスあまねび	○	
30	29DEKITA	○	
31	30はなみずき学園	○	
32	31あまねび	○	
33	32ドリームボックス	○	
34	33あまねび	○	
35	34トランス・ジュニア印刷前席教室	○	
36	35トランス・ジュニア印刷前席生	○	
37	36ひまわり	○	
38	37ピストリス	○	
39	38ピストリス	○	
40	39How are!	○	
41	40放課後等デイサービスあまねび	○	
42	41Kids Links Nexus	○	
43	42Smay	○	
44	43ピストリス	○	
45	44こども園	○	
46	45はなみずき学園	○	
47	46はなみずき学園	○	

№	事業所名	サ・イ・ド・の種	種別
		放課後等 デイサービス 児童支援 ○	障害児 療育等 相談支援 ○
17	17相談支援センターあまねび		
18	18加山児童発達支援センターあまねび	○	
19	19相談支援センターあまねび		
20	20相談支援センターあまねび		
21	21相談支援センターあまねび		
22	22相談支援センターあまねび		
23	23相談支援センターあまねび		
24	24相談支援センターあまねび		
25	25相談支援センターあまねび		
26	26相談支援センターあまねび		
27	27相談支援センターあまねび		
28	28相談支援センターあまねび		
29	29相談支援センターあまねび		
30	30相談支援センターあまねび		
31	31相談支援センターあまねび		
32	32相談支援センターあまねび		
33	33相談支援センターあまねび		
34	34相談支援センターあまねび		
35	35相談支援センターあまねび		

下記の項目について、該当する答えに「☑（レ点）」をつけてください。

1 お子さんのことについて

問1 お子さんの年齢を教えてください。(1つのみ) (4月1日現在の年齢)

- 0～2歳 (未就学) 3～5歳 (未就学)
 6～8歳 (小学校低学年) 9～11歳 (小学校高学年)
 12～14歳 (中学生) 15～17歳 (高校生)

問2 住んでいる地域を教えてください。(1つのみ)

- 新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町
 八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町
 青柳・青柳町・柿木町
 原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原
 草加・西町・氷川町
 神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町
 稲荷・松江5～6丁目
 柳島町・逆馬町・新里町・西新田西町・西新田東町・谷塚上町・谷塚中町
 谷塚町・谷塚
 瀬崎

問3 お子さんは障害者手帳を持っていますか。(1つのみ)

- 持っている **▶▶ 問3-1へ**
 持っていない **▶▶ 問3-3、3-4へ**

【問3で「持っている」と回答した方におたずねします。】

問3-1 お子さんがお持ちの障害者手帳の種類と等級は何ですか。

(当てはまるものすべてに)

手帳の種類	等級	
<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳	<input type="checkbox"/> 1級	<input type="checkbox"/> 2級 <input type="checkbox"/> 3級
	<input type="checkbox"/> 4級	<input type="checkbox"/> 5級 <input type="checkbox"/> 6級
<input type="checkbox"/> 療育手帳	<input type="checkbox"/> ㊤	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
	<input type="checkbox"/> C	
<input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳	<input type="checkbox"/> 1級	<input type="checkbox"/> 2級 <input type="checkbox"/> 3級

【問3-1で「身体障害者手帳」と回答した方におたずねします。】

問3-2 お子さんはどのような障がいがありますか。(当てはまるものすべてに)

- 視覚障がい 聴覚障がい
 平衡機能障がい 音声・言語・そしゃく機能障がい
 上肢不自由 下肢不自由
 体幹不自由 運動機能障がい
 心臓機能障がい じん臓機能障がい
 呼吸器機能障がい ぼうこう又は直腸の機能障がい
 その他 ()

【問3で「持っていない」と回答した方におたずねします。】

問3-3 障害児通所支援利用申請時に提出した診断書にはどのような診断（又は障がいの内容）が書かれていましたか。（当てはまるものすべてに）

- 知的障がい
- 学習障がい（LD）
- 注意欠如・多動症（ADHD）
- 自閉スペクトラム症
- 高次脳機能障がい
- その他の診断名（ ）
- 知的や言語の発達の遅れ
- 運動発達の遅れ
- 療育の必要がある
- その他の内容（ ）

【問3で「持っていない」と回答した方におたずねします。】

問3-4 問3-3で回答した症状について、医療機関を定期的に受診していますか。

（1つのみ）

- 受診している
- 受診していない

問4 日常的に医療的ケア（問4-1参照）を必要としていますか。（1つのみ）

- 医療的ケアが必要 ➡ 問4-1へ
- 医療的ケアは必要ない ➡ 問5へ

【問4で「医療的ケアが必要」と回答した方におたずねします。】

問4-1 具体的なケアの内容は何ですか。（当てはまるものすべてに）

- 人工呼吸器管理
- 気管内挿管・気管切開
- 鼻咽喉エアウェイ
- 酸素吸入
- 吸引（ネブライザー）
- 中心静脈栄養
- 経管栄養（経鼻・胃ろう）
- 経腸栄養（経鼻・腸ろう）
- 継続する透析
- 定期導尿
- 人工肛門
- 人工膀胱
- その他（ ）

問5 お子さんが平日の日中、主として過ごしている場はどこですか。

（当てはまるものすべてに）

- 保育所
- 幼稚園
- 児童発達支援事業所
- 小学校教育常学級
- 小学校特別支援学級
- 特別支援学校小学部
- 中学校通常学級
- 中学校特別支援学級
- 特別支援学校中学部
- 高等学校
- 特別支援学校高等部
- 家にいる
- その他（ ）

2 ご家族の状況について

問6 保護者の就業状況についてご回答ください。

(1) 父	<input type="checkbox"/> 常勤で就労している		
	<input type="checkbox"/> パート・非常勤で就労している		
	⇒ 【勤務日数】 1週間あたり		日
	⇒ 【勤務時間】 1日あたり		時間
	<input type="checkbox"/> 求職中		
(2) 母	<input type="checkbox"/> 就労していません		
	⇒ 【就労希望】 <input type="checkbox"/> 就労を希望している		
	<input type="checkbox"/> 就労していません		
	⇒ 【就労希望】 <input type="checkbox"/> 就労を希望している		
	<input type="checkbox"/> 求職中		
(1) 父	<input type="checkbox"/> 常勤で就労している		
	<input type="checkbox"/> パート・非常勤で就労している		
	⇒ 【勤務日数】 1週間あたり		日
	⇒ 【勤務時間】 1日あたり		時間
	<input type="checkbox"/> 求職中		
(2) 母	<input type="checkbox"/> 就労していません		
	⇒ 【就労希望】 <input type="checkbox"/> 就労を希望している		
	<input type="checkbox"/> 就労していません		
	⇒ 【就労希望】 <input type="checkbox"/> 就労を希望している		
	<input type="checkbox"/> 求職中		

問7 お子さんの介助や支援をしている人はどなたですか。

※お子さんからみられた続柄（関係）でお答えください。（当てはまるものすべてに）

<input type="checkbox"/> 親・祖父母	
<input type="checkbox"/> 兄弟姉妹	
⇒ <input type="checkbox"/> 18歳未満 <input type="checkbox"/> 18歳以上	
<input type="checkbox"/> 他の家族・親族等（具体的に：)	
<input type="checkbox"/> ホームヘルプ等の在宅サービス提供者	
<input type="checkbox"/> 施設の職員・世話人	
<input type="checkbox"/> 友人・知人	
<input type="checkbox"/> ボランティア	
<input type="checkbox"/> 介護や支援の必要はない	
<input type="checkbox"/> その他（具体的に：)	

3 障害児通所支援事業について

問8 お子さんは、障害児通所支援を利用していますか。（1つのみ）

はい

いいえ ➡ 問8-8、8-9、8-10へ

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-1 利用している障害児通所支援事業所についておたずねします。

- ①利用している障害児通所支援の「満足度」に応じて☑レ点をつけてください。
- ②引き続き、あるいは新たに利用したい障害児通所支援がある場合、☑レ点をつけてください。

満足度	①満足度を選び、該当する箇所に☑レ点をつけてください。					②引き続き、あるいは新たに利用したい場合、☑レ点をつけてください。
	とても満足している	満足している	やや満足している	やや満足していない	満足していない	
支援の種類						
(例) 児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
(例) 放課後等デイサービス						<input type="checkbox"/>
(例) 保育所等訪問支援						<input checked="" type="checkbox"/>
1. 児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 医療型児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 居宅訪問型児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 保育所等訪問支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

利用していない場合は、空欄のままです。

今後利用したい場合は☑

【問8-1で「とても満足している」「満足している」「やや満足している」と回答した方におたずねします。】

問8-2 満足している理由をお答えください。

.....
.....
.....

【問8-1で「やや満足していない」「満足していない」「まったく満足していない」と回答した方におたずねします。】

問8-3 満足していない理由をお答えください。

.....
.....
.....

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-4 利用している事業所の所在地をできるだけ具体的に教えてください。

(当てはまるものすべてに)

(例) 埼玉県内 (具体的に: 春日部市〇〇町)

- 草加市内
- 埼玉県内 (具体的に: _____)
- 東京都内 (具体的に: _____)
- 千葉県内 (具体的に: _____)
- その他 (具体的に: _____)

【問8-4で「埼玉県内」「東京都内」「千葉県内」「その他」と回答した方におたずねします。】

問8-5 草加市外の事業所に通っている理由をお答えください。

.....
.....
.....

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-6 サービスを利用する際に、重要視するところはどこですか。

(当てはまるものすべてに)

- 支援の内容が子どもにも合っている
- 専門の職員がいる
- 家から近い
- 送迎のサービスがある
- 親子通園ができる
- 土、日、祝日に開所している
- 給食がある
- 家族支援が充実している
- その他 (具体的に: _____)

【問8で「はい」と回答した方におたずねします。】

問8-7 さらに充実してほしい療育の内容をお答えください。

.....
.....
.....

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-8 障害児通所支援を利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

- サービスを知らない、または、よくわからない
- サービスは知っているが、支援を必要としていない
- 子どもに合った事業所がない
- 家の近くに事業所がない
- 利用料がかかる
- その他（具体的に： _____)

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-9 今後、利用を考えている障害児通所支援は何ですか。

(当てはまるものすべてに)

- 児童発達支援
- 医療型児童発達支援
- 居宅訪問型児童発達支援
- 放課後等デイサービス
- 保育所等訪問支援
- 利用を考えていない

【問8で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

問8-10 お子さんの発達の違いや障がいについて、誰に(どこに)相談していますか。

(当てはまるものすべてに)

- 家族
- かかりつけの病院
- 子育て支援課
- 子育て支援センター
- 保健センター
- 教育支援室
- 児童相談所
- 保育所・幼稚園
- 学校
- 通所支援事業所
- 相談支援事業所
- その他 (_____)
- 相談していない

【問8-10で「相談していない」と回答した方におたずねします。】

問8-11 相談していない理由をお答えください。

.....
.....
.....

問9 お子さんは、障害児相談支援を利用していますか。(1つのみ)

- 利用している  [問9-1へ](#)
- 利用していない  [問9-4へ](#)

【問9で「利用している」と回答した方におたずねします。】

問9-1 作成した支援利用計画の満足度についてもっとも当てはまるものをお答えください。(1つのみ)

- とても満足している
- 満足している
- やや満足している
- やや満足していない
- 満足していない
- まったく満足していない

【問9-1で「とても満足している」「満足している」「やや満足している」と回答した方におたずねします。】

問9-2 満足している理由をお答えください。

.....

.....

.....

【問9-1で「やや満足していない」「満足していない」「まったく満足していない」と回答した方におたずねします。】

問9-3 満足していない理由をお答えください。

.....

.....

.....

【問9で「利用していない」と回答した方におたずねします。】

問9-4 障害相談支援を利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

- サービスを知らない、または、よくわからない
- サービスは知っているが、支援を必要としていない
- 手間がかかりそう
- 保護者自身で計画を立てたい
- その他

(具体的に：

.....

4 差別について

問10 平成28年(2016年)4月1日に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(通称：障害差別解消法)」について知っていますか。(1つのみ)

- 内容まで知っている
- 名前だけ聞いたことがある
- 知らない

問11 お子さんは、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありませんか。(1つのみ)

- よくある
- たまにある
- ほとんどない
- まったくない

5 市民の理解について

問 12 あなたは、地域の方の障がい児に対する理解が深まっていると感じますか。
(1つのみ)

- とても感じる 多少は感じる **➡ 問 12-1 へ**
 あまり感じない まったく感じない **➡ 問 12-2 へ**

【問 12 で「とても感じる」「多少は感じる」と回答した方におたずねします。】

問 12-1 理解が深まっていると感じる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

- 適切な援助が受けられるようになった 援助を頼みやすくなった
 子どもが人から話しかけられるようになった 子どもの話を聞いてくれるようになった
 特別な視線を感じなくなった 差別を感じなくなった
 子どもに障がいのない人の仲間が その他 ()
きた

【問 12 で「あまり感じない」「まったく感じない」と回答した方におたずねします。】

問 12-2 理解が深まっていないと感じる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに)

- 適切な援助が受けられない 援助を頼みにくい
 子どもが人から話しかけられない 子ども話を聞いてくれない
 特別な視線を感じる 差別を感じる
 子どもに障がいのない人の仲間が その他 ()
できない

② 障害児通所支援事業所アンケート

障害児通所支援事業・障害児相談支援事業の利用

に関するアンケート調査 【ご協力をお願いします】

日頃から、市政に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
草加市では、障害児通所支援事業（児童発達支援や放課後等デイサービス等）や相談支援事業について、提供体制の確保や事業の円滑な実施を図るため、児童福祉法に基づき、「第2期草加市障がい児福祉計画」を策定し、計画的な見直しを行っています。
第2期の計画に引き続き、令和5年度には、第3期の計画を策定する必要があり、その一環として、計画づくりの基礎資料とするため、障害児通所支援事業所のご意見、お考えを同アンケート調査を実施します。

お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

令和4年（2022年）12月

草加市長 山川 百合子

回答に当たってお読みください

- ◆回答は、主に、当てはまる項目を選んで該当する答えに「☑（レ点）」をつけてください。
- ◆回答が済んだ調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月31日（土）まで**に、ポストに投函してください（切手は不要です。差出人の住所・氏名の記入も不要です）。
- ◆調査は無記名で実施し、回答は統計的に処理します。事業所名を公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。
- ◆本調査と同時期に障がい児の保護者を対象としたアンケート調査も実施しております。利用者の方からお問い合わせがあった場合は、お手数ですが、問い合わせ先に連絡するようご案内をお願いします。
- ◆多機能型事業所または複数単位でサービス提供している事業所については、提供サービス数の調査票及び返信用封筒を同封しております。**サービスごと**に回答していただけるよう、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

草加市 子ども未来部 子育て支援課 子ども保護係
電話（直通） 048-922-1483 FAX 048-922-3274
電子メール sienka@city.soka.saitama.jp

下記の項目について、該当する答えに「☑（レ点）」をつけてください。

問1 貴事業所の運営母体の種別をお答えください。（1つのみ）

- 社会福祉法人
- 医療法人
- 一般社団法人、一般財団法人
- 特定非営利活動法人（NPO法人）
- 株式会社、有限会社、合同会社
- その他（具体的に： _____ ）

問2 貴事業所の所在地を教えてください。（1つのみ）

- 新栄・長栄・清門・新善町・金明町・旭町
- 八幡町・弁天・中根・松江1～4丁目・栄町
- 青柳・青柳町・柿木町
- 原町・北谷・北谷町・苗塚町・花栗・小山・松原
- 草加・西町・氷川町
- 神明・住吉・手代・中央・高砂・吉町
- 稲荷・松江5～6丁目
- 柳島町・逆烏町・新里町・西新田西町・西新田東町・谷塚上町・谷塚中町
- 谷塚町・谷塚
- 瀬崎

問3 貴事業所の当該サービスにかかわる職員体制についてご記入ください。
(令和4年11月1日現在)

職員数	人数		
	人数	人数	
<input type="checkbox"/> 常勤職員		人	
<input type="checkbox"/> 非常勤・その他		人	
<input type="checkbox"/> 合計		人	
上記のうち専門職員数	人数	上記のうち専門職員数	人数
<input type="checkbox"/> 医師		<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	人
<input type="checkbox"/> 看護師		<input type="checkbox"/> 社会福祉士	人
<input type="checkbox"/> 保育士		<input type="checkbox"/> 心理士	人
<input type="checkbox"/> 児童指導員		<input type="checkbox"/> 介護職員初任者研修修了者	人
<input type="checkbox"/> 栄養士		<input type="checkbox"/> 精神保健福祉士	人
<input type="checkbox"/> 介護福祉士		<input type="checkbox"/> 調理師	人
<input type="checkbox"/> 理学療法士		<input type="checkbox"/> 柔道整復師	人
<input type="checkbox"/> 作業療法士			人
<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 職種等具体的に ()	人

問4 貴事業所が利用対象としている障がい種別等をお答えください。
(当てはまるものすべてに)

身体障がい 知的障がい
 精神障がい 発達の違い
 重聴心身障がい児 医療的ケア児

問5 貴事業所の開設日(曜日)をお答えください。(当てはまるものすべてに)

月曜日 火曜日
 水曜日 木曜日
 金曜日 土曜日
 日曜日 祝日

問6 貴事業所が提供しているサービスと定員及び1か月の利用者数を教えてください。

提供しているサービス	定員を記入してください		令和4年11月の利用者数を記入してください	
	定員	定員	利用者総数(実人数)	内) 専加市(実人数)
<input type="checkbox"/> 児童発達支援		人	人	人
<input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス		人	人	人
<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援			人	人
<input type="checkbox"/> 障害児相談支援			人	人

【問6で「児童発達支援」「放課後等デイサービス」を提供していると回答した事業所におたずねします。】

問6-1 貴事業所が提供している療育の特徴や方針を教えてください。

.....

.....

.....

問7 現在、サービスを提供するうえで課題はありますか。(上位5つまで)

- 人材の確保・育成
- サービスに見合う収益の確保
- 有資格者の確保
- 施設や設備等の整備資金の確保
- 施設や設備等の整備費用の回収
- 事務の効率化
- 他の事業所との統合
- 制度改正への対応
- 事故・犯罪・訴訟・不正・虐待等へのリスクマネジメント
- 利用者の確保
- 保護者への対応
- 保育所・幼稚園・学校との連携
- 送迎が広範囲にわたる
- その他

具体的に：

特になし

問8 草加市に事業所を開所した理由を教えてください。

.....

.....

.....

問9 各サービスについて、貴事業所の今後の展望をお答えください。

- (1) 拡大や新規参入を考えているサービス、(2) 縮小や撤退を考えているサービスはありますか。(5つまで)

※特にない場合は無記入で結構です。

サービスの種類	(1) 拡大や新規参入	(2) 縮小や撤退
児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
児童発達支援 (重症心身障がい児)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
児童発達支援 (医療的ケア児)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
居宅訪問型児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療型児童発達支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
放課後等デイサービス (重症心身障がい児)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
放課後等デイサービス (医療的ケア児)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育所等訪問支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
障害児相談支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問10 貴事業所では、重症心身障がい児が利用できる体制となっていますか。

(1つのみ)

- 利用できる
- 利用できない

➡ 問10-1へ

➡ 問10-2へ

【問 10で「利用できる」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-1 現在、重症心身障がい児の利用はありますか。ある場合、何人いますか。

現在、利用がある
 現在、利用はない

現在、利用がある
 現在、利用はない

【問 10で「利用できない」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-2 今後、利用を開始する予定はありますか。ある場合、いつ頃を予定していますか。

予定がある
 予定はない

予定がある
 予定はない

開始予定
 年
 月
 日

【問 10-2で「予定はない」と回答した事業所におたずねします。】

問 10-3 今後、予定を立てるにあたり、必要なことを教えてください。

.....

.....

.....

問 11 貴事業所では、医療的ケアが必要な子どもが利用できる体制となっていますか。

(1つのみ)

利用できる
 利用できない

利用できる
 利用できない

【問 11で「利用できる」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-1 現在、医療的ケア児の利用はありますか。ある場合、何人いますか。

現在、利用がある
 現在、利用はない

現在、利用がある
 現在、利用はない

【問 11で「利用できない」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-2 今後、利用を開始する予定はありますか。ある場合、いつ頃を予定していますか。

予定がある
 予定はない

予定がある
 予定はない

開始予定
 年
 月
 日

【問 11-2で「予定はない」と回答した事業所におたずねします。】

問 11-3 今後、予定を立てるにあたり、必要なことを教えてください。

.....

.....

.....

問 12 サービスの拡大や新規参入のために必要なことを、自由に記載してください。

.....

.....

.....

■

問 13 より質の高い支援を行っていただくために必要なことを、自由に記載してください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
12月31日（土）までにポストに投函してください。
(切手は不要です。差出人の住所・氏名の記入も不要です。)

草加市障がい児福祉に関するアンケート 結果報告書

発行／草加市
編集／草加市子ども未来部子育て支援課
〒340-8550
埼玉県草加市高砂1丁目1番1号
TEL 048-922-1483（子育て支援課）
発行年月／令和5年3月
